

平成30年度第13回

地域連携推進機構運営会議（メール会議） 議事次第

日時：平成31年2月12日（火）（メール送信日）～2月14日（木）（意見等期限日）

【議題】

<審議事項>

1 平成31年度公開講座の実施について

資料番号

審議1

○審議1資料

- ・ 平成31年度公開講座一覧
- ・ 平成31年度公開講座計画書一式
- ・ 全学的に実施する公開講座等の実施方針

※参考資料

- ・ 地域連携推進機構運営会議 委員名簿（平成30年10月12日時点）（参考資料1）

※今後の日程

- ・ 第14回 … 2月22日（金） 13:30～15:30 於：本部管理棟 2階 第2会議室
- ・ 第15回 … 3月22日（金） 13:30～15:30 於：本部管理棟 4階 第1会議室

平成31年度 公開講座一覧

資料1-1

●専門コース(承認予定)

No.	提供学部	主任担当教員 ※青いセルは新規教員	講座名	募集人数	受講者数	受講料 ※料金規程によらない金額は赤字(無料は除く)	対象者	開催期間	会場	備考
1	工学部	比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース教授)	第二種電気工事士試験対策講習(筆記・上期)	20		¥3,700 (大学生は¥1,850)	市民一般並びに工学系大学生	4月27日(土)、5月11日(土)、5月18日(土)、5月25日(土)、6月1日(土)	工学部4号館111室	H30年度も開講
2	工学部	比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース教授)	第二種電気工事士試験対策講習(筆記・下期)	20		¥3,700 (大学生は¥1,850)	市民一般並びに工学系大学生	8月31日(土)、9月7日(土)、9月14日(土)、9月21日(土)、9月28日(土)	工学部4号館111室	H30年度も開講
3	工学部	渡嘉敷健(工学部工学科建築学コース)	ホールマネージメント	10		¥3,180	ホール技術者及び一般	10月5日(土)、10月12日(土)、10月19日(土)	工学部2号館2F残響室・無響室及び小会議室	H30年度も開講
4	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健管理部門教授)	心理リハビリテーション(動作法)Ⅰ	(有料)5人 (無料)10人		¥5,240	(有料)教育・福祉・医療従事者 (無料)障がい者とその家族	5月13日(月)～7月8日(月)	琉球大学保健管理センター	H30年度も開講
5	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健管理部門教授)	心理リハビリテーション(動作法)Ⅱ	(有料)5人 (無料)10人		¥4,730	(有料)教育・福祉・医療従事者 (無料)障がい者とその家族	9月30日(月)～12月9日(月)	琉球大学保健管理センター	H30年度も開講
6	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健管理部門教授)	自立活動に生かす心理リハビリテーション(動作法)出前講座 in 那覇特別支援学校	20		無 料	特別支援学校教員、児童生徒	4月26日(金)、9月13日(金)、2月14日(金)	沖縄県立那覇特別支援学校	H30年度も開講
7	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健管理部門教授)	自立活動に生かす心理リハビリテーション(動作法)出前講座 in 鏡が丘特別支援学校	20		無 料	特別支援学校教員、児童生徒	9月21日(木)、2月7日(木)	沖縄県立鏡が丘特別支援学校	H30年度も開講
8	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健管理部門教授)	自立活動に生かす心理リハビリテーション(動作法)出前講座 in 泡瀬特別支援学校	20		無 料	特別支援学校教員、児童生徒	9月27日(金)、10月4日(金)、1月17日(金)	沖縄県立泡瀬特別支援学校	H30年度も開講

●専門コース(修正依頼予定)

No.	提供学部	主任担当教員 ※青いセルは新規教員	講座名	募集人数	受講者数	受講料 ※料金規程によらない金額は赤字(無料は除く)	対象者	開催期間	会場	備考
1	医学部	遠藤 由美子(医学部保健学科 准教授)	看護職の研究力アップ講座	30		1回の受講につき1,000円	臨床看護研究を実施予定または実施中の看護職	6月22日(土)、9月7日(土)、11月16日(土)、1月25日(土)	医学部保健学科棟2階213室	H30年度も開講 (H30年度の受講料は¥3,180)
2	工学部	比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース教授)	第二種電気工事士試験対策講習(技能・上期)	20		¥4,730 (大学生は¥2,300)	市民一般並びに工学系大学生	6月8日(土)～7月20日(土)	工学部2号館226号室	H30年度も開講
3	工学部	比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース教授)	第二種電気工事士試験対策講習(技能・下期)	20		¥4,730 (大学生は¥2,300)	市民一般並びに工学系大学生	10月12日(土)～11月30日(土)	工学部2号館226号室	H30年度も開講
4	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健管理部門教授)	心理リハビリテーション・ボランティア養成講座	50		無 料	教育・福祉・医療従事者、障がい児(者)の家族、学生等	4月27日(土)	琉球大学学生会館3階特別会議室	各サテライトキャンパスへ配信可 H30年度も開講
5	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健管理部門教授)	心理リハビリテーション(動作法)キャンプ in 石垣島	(有料)10人 (無料)20人		¥3,700	(有料)教育・福祉・医療従事者 (無料)障がい者とその家族	7月13日(土)～7月14日(日)	NPO法人 ちゅらハウス	石垣島にて実施 H30年度も開講
6	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健管理部門教授)	心理リハビリテーション(動作法)キャンプ in 宮古島	(有料)12人 (無料)30人		¥3,700	(有料)教育・福祉・医療従事者 (無料)障がい者とその家族	7月24日(水)～7月26日(金)	沖縄県立宮古特別支援学校(交渉中)	宮古島にて実施 H30年度も開講

専門コース:14講座

No.	提供学部	主任担当教員 ※青いセルは新規教員	講座名	募集人数	受講者数	受講料 ※料金規程によらない金額は赤字(無料は除く)	対象者	開催期間	会場	備考
-----	------	----------------------	-----	------	------	-------------------------------	-----	------	----	----

●一般コース(承認予定)

No.	提供学部	主任担当教員 ※青いセルは新規教員	講座名	募集人数	受講者数	受講料 ※料金規程によらない金額は赤字(無料は除く)	対象者	開催期間	会場	備考
1	国際地域創造学部	大島 順子 (国際地域創造学部国際地域創造学科 准教授)	やんばる山学校	20		¥3,180	市民一般(中学生以上)	11月23日(土)～11月24日(日)	琉球大学「与那フィールド」及び国頭村内の森林やダム周辺、海岸エリア	H30年度も開講
2	国際地域創造学部	大島 順子 (国際地域創造学部国際地域創造学科 准教授)	やんばるで学ぶ世界自然遺産学習	20		¥3,180	市民一般(高校生以上)、教育関係者及び観光関連事業者	6月1日(土)	琉球大学「与那フィールド」及び国頭村内の森林エリア	H30年度も開講
3	教育学部	清水 洋一 (教育学部技術教育教室 教授)	おもちゃ作りを通して学ぶ地球温暖化防止親子講座	10組 (20人)		無 料	小学校4～6年生と保護者	7月22日(日)	教育学部102教室	H30年度も開講
4	教育学部	岡本 牧子 (教育学部技術教育専修 准教授)	新聞記者体験 -エネルギーってなんだろう?-	20		無 料	小学4～6年生とその保護者	7月20日(土)、7月21日(日)	教育学部本館101	H30年度も開講
5	教育学部	岡田 恵美 (教育学部音楽教育講座 准教授)	〈ものづくりと音楽体験〉 3Dプリンタによる楽器作りとアンサンブル体験!	10		無 料	主に小学校高学年・中学生(保護者の参加可)	8月3日(土)	教育学部教育実践棟 実践指導室AB室(1階)	H30年度も開講(手作り打楽器「カホン」と生活廃材楽器によるパーカッション・アンサンブル体験!)
6	教育学部	下地 敏洋(大学院教育学研究科 教授)	老年学への招待—生涯発達から老化を考える—	25		無 料	一般市民	6月22日(土)、6月29日(土)、 7月6日(土)	教育学部棟103号室	H30年度も開講(老年学への招待—主観的幸福感をいかに高めるか—)
7	教育学部	三輪 一義(教育学部生涯健康教育コース 教授)	児童・生徒・指導者のためのハンドボール教室	200		無 料	ハンドボール愛好者	4月6日(土)～3月8日(日) ※のべ実施日数:64日	琉球大学第一体育館	H30年度も開講
8	教育学部	三枝崎 剛(琉球大学教育学部 准教授)	結び目の数学—ひもはほどけるか—	20		無 料	一般市民、中・高生	※調整中 7月末から9月上旬予定	教育学部本館106室	H30年度も開講
9	理学部	前野 昌弘(理学部物質地球科学科物理系准教授)	～物理の魅力を教えます2019～	50		無 料	小中高生・一般	8月4日(日)	理系複合棟	H30年度も開講
10	理学部	前野 昌弘(理学部物質地球科学科物理系准教授)	琉大生による理科実験教室	100		無 料	小中高生・一般	12月23日(日)	理系複合棟	H30年度も開講
11	理学部	漢那 洋子(理学部 海洋自然科学科 化学系 准教授)	理系女子・理系男子の世界—進路選択とキャリア形成、生活と文化—	20		無 料	一般(高校・大学生、指導者・保護者も可)	検討中	理系複合棟207講義室(仮)	H30年度も開講
12	理学部	中川 鉄水(理学部海洋自然科学科化学系助教)	身近な化学 Part①	30		無 料	高校生以下	未定(6月予定)	生涯学習教育センター301講義室	H30年度も開講 共催:一般社団法人教育振興会
13	理学部	中川 鉄水(理学部海洋自然科学科化学系助教)	身近な化学 Part②	30		無 料	高校生以下	未定(2月予定)	生涯学習教育センター301講義室	H30年度も開講 共催:一般社団法人教育振興会
14	農学部	森山 克子(農学部健康栄養科学コース 准教授)	働き盛りのための栄養講座・クッキング part1～part3 ～仕事の活力を増進させるニュートレ～	8～10		¥2,670	30歳以上の男女	11月9日(土)	教育学部本館309教室、 306教室(給食実習室)	H30年度も開講
15	工学部	比嘉 広樹(工学部工学科電気システム工学コース 教授)	ロボットをつくろう	10		無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	中学生	8月4日(日)	工学部3号館305コンピューター実習室	H30年度も開講
16	工学部	金城 光永(工学部工学科 電子情報通信コース 准教授)	電子工作教室(ミニ四駆とLEDを題材に)	12		無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	小学5・6年生	7月20日(土)、7月21日(日)	工学部2号館2階226教室、 工学部2号館2階217-2教室(ものラボ)	H30年度も開講
17	工学部	勢理客 勝則(工学部技術部 技術職員)	夏休み工作教室 — ホパークラフト	10		無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	小学1～3年生	7月27日(土)	工学部2号館2階226教室	H30年度も開講
18	工学部	淵脇 秀晃(工学部技術部 技術専門職員)	夏休み工作教室 — 折り紙建築	8		無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	小学5、6年生	7月27日(土)	工学部2号館技術部室	H30年度も開講
19	工学部	宮城 紀良(工学部技術部 技術専門職員)	夏休み工作教室 — 固形燃料で走る船	14		無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	小学5、6年生	7月27日(土)	工学部1号館1-122室	H30年度も開講
20	工学部	山下 大輔(工学部技術部 技術職員)	夏休み工作教室 — 電子回路の製作	12		無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	小学4～6年生	7月27日(土)	工学部2号館226室	H30年度も開講
21	工学部	渡慶次 高也(工学部技術部 技術職員)	夏休み工作教室—電気工事を体験しよう(小学生対象コース)	10		無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	小学4～6年生	7月27日(土)	工学部2号館118室	H30年度は一つの講座として開講 (夏休み工作教室—)

No.	提供学部	主任担当教員 ※青いセルは新規教員	講座名	募集人数	受講者数	受講料 ※料金規程によらない金額は赤字(無料は除く)	対象者	開催期間	会場	備考
22	工学部	渡慶次 高也(工学部技術部 技術職員)	夏休み工作教室－電気工事を体験しよう(中学生対象コース)	10		無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	中学生	8月3日(土)	工学部2号館118室	電気工事を体験しよう
23	工学部	翁長 竜盛(工学部技術部 技術職員)	夏休み工作教室－デスクトップPC組み立て・LANケーブル製作体験－	8		無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	中学生	7月27日(土)	工学部2号館217-2号室	H30年度も開講
24	工学部	山下 大輔(工学部技術部 技術職員)	夏休み工作教室－ミラクル万華鏡	10		無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	小学1-3年生	8月3日(土)	工学部2号館226室	H30年度も開講
25	工学部	大城 成栄(工学部技術部 技術専門職員)	夏休み工作教室－合金を溶かして風鈴づくり	8		無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	小学5、6年生	8月3日(土)	工学部 附属工作工場 鋳物室	H30年度も開講
26	工学部	勢理客 勝則(工学部技術部 技術職員)	夏休み工作教室－まわりつづけるコマ	10		無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	小学4-6年生	8月3日(土)	工学部2号館226室	H30年度も開講
27	工学部	渡慶次 高也(工学部技術部 技術職員)	ものラボでものづくり！クリスマスイルミネーション工作教室	8		無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	小学生4～6年	12月14日(土)	工学部2号館217-2室	H30年度も開講(クリスマスイルミネーション工作教室－メロディ付クリスマスツリー)
28	人文社会学部	寺石 悦章(人文社会学部人間社会学科 教授)	シュタイナー教育実践入門講座 I	20		¥3,180	市民一般・教育関係者	6月15日(土)、8月19日(月)、 8月20日(火)	文系講義棟 106	新規
29	人文社会学部	寺石 悦章(人文社会学部人間社会学科 教授)	シュタイナー教育実践入門講座 II	20		¥3,180	市民一般・教育関係者	10月19日(土)、11月16日(土)、 1月25日(土)	文系講義棟 106	新規

●一般コース(修正依頼予定)

公開講座 番号	提供学部	主任担当教員 ※青いセルは新規教員	講座名	募集人数	受講者数	受講料 ※料金規程によらない金額は赤字(無料は除く)	対象者	開催期間	会場	備考
1	医学部	大湾 知子(医学部保健学科成人・がん看護学 准教授)	世界遺産登録へ向けた沖縄伝統空手の健康技・三戦と尿失禁・頻尿に役立つ骨盤底筋訓練	70		無 料	市民一般	4月28日(日)	三原区公民館	新規 共催：NPO法人日本コンチネン協会沖縄県支部 ※別日で同内容の講座を開催予定 @星空公民館もしくは若狭公民館
2	医学部	大湾 知子(医学部保健学科成人・がん看護学 准教授)	コンチネンズ月間・コンチネンズデイ！めざせ！気持ちよく排泄できるコンチネンズ	70		無 料	市民一般	11月2日(土)	放送大学沖縄学習センター5階 大講義室	新規 共催：NPO法人日本コンチネン協会沖縄県支部
3	医学部	照屋 典子(医学部保健学科成人・がん看護学 助教)	がん患者・家族を癒す緩和ケアの実践	50		無 料	市民一般・患者・家族	9月7日(土)	沖縄赤十字病院 3F会議室	共催：沖縄赤十字病院 H30年度も開講(@中頭病院)
4	医学部	尾尻 義彦(医学部保健学科 助教)	楽々ランニングで目指せ！NAHAマラソン完走！！	40		無 料	市民一般	6月22日(土)～ 11月16日(土)	琉球大学生涯学習教育研究センター、 琉球大学医学部保健学科	琉球大学地域国際学習センター301講義室から各サテライトへ配信予定 H30年度も開講(めざせ！NAHAマラソン完走へ)
5	教育学部	松本 由香(教育学部家政教育 教授)	オリジナル模様ワンピースづくりにトライ！	6		¥3,700	一般・学生	7月21日(日)	教育学部棟3階333教室	H30年度も開講
6	教育学部	笹澤 吉明(教育学部 准教授)	琉大生がサッカーと勉強を教えます！	100		無 料	小学生	※調整中 5月開始予定・基本的に毎週日曜	琉球大学サッカー場及び講義室 (雨天時は第一体育館)	H30年度も開講 夏季は西原きらきらビーチでの開講もある
7	教育学部	濱田 栄作(教育学部・准教授)	はじめてのプログラミング体験	5		無 料	小学5・6年生	10月27日(日)	教育学部棟4階 422室	新規
8	教育学部	濱田 栄作(教育学部・准教授)	クリスマス サイエンス レクチャー	16		無 料	小学5・6年生および中学生	12月21日(土)	教育学部棟4階 422室	新規
9	教育学部	三枝崎 剛(教育学部・准教授)	ルービックキューブのオリジナル解法	20		無 料	一般市民、中・高生	※調整中 7月末から9月上旬予定	教育学部本館1階106室	新規
10	教育学部	浦崎 武(教育学研究科・教職センター 教授)	気になる子どもたちの理解と地域との連携・協働による「トータル支援」	60		無 料	一般、教育・福祉関係者	6月22日(土)、7月6日(土)	八重山教育事務所 宮古保健所	新規 共催：県教育委員会(八重山教育事務所・宮古教育事務所)・石垣市・石垣市教育委員会・竹富町教育委員会・宮古福祉事務所・宮古島市教育委員会

No.	提供学部	主任担当教員 ※青いセルは新規教員	講座名	募集人数	受講者数	受講料 ※料金規程によらない金額は赤字(無料は除く)	対象者	開催期間	会場	備考
11	理学部	中川 鉄水(理学部 海洋自然科学科 化学系 助教)	水素のチカラ ～水素を作る、貯める、使うを体験しよう～	30		無 料	市民一般・学生	未定	未定(@琉大千原キャンパス) 未定(@離島) 未定(@北部または南部地域)	H30年度も開講 出前講座 各サテライトキャンパスにて実施予定
12	理学部	中村 崇(海洋自然科学科生物系 准教授)	身近な海を楽しもう～サンゴ礁の生物塾	10		¥2,670	移動手段(自家用車)があり、 終日参加が可能な方、未成年 者の場合は小学生以上とし原則 保護者同伴での参加が可能な 方	8月31日(土)	理学部528教室と野外 (大渡海岸もしくは裏真栄田海岸を予 定)	H30年度も開講
13	理学部	傳田 哲郎(海洋自然科学科生物系 教授)	植物と動物のつながりを探る - イチジクの仲間を例に -	15		無 料	一般市民 (小中高生も可)	8月3日(土)	理学部海洋自然科学科427室	新規
14	工学部	渡嘉敷健(工学部工学科建築学コース)	音の体験教室	50		無 料	一般市民	8月18日(日)	工学部2号館2F残響室・ 無響室	H30年度も開講
15	工学部	渡嘉敷健(工学部工学科建築学コース)	沖縄の公害問題で考える平和学習	20		¥3,180	市民一般	11月2日(土)、11月9日(土)、 11月16日(土)	工学部2号館2階小会議室	新規

●一般コース(不承認予定)

公開講座 番号	提供学部	主任担当教員 ※青いセルは新規教員	講座名	募集人数	受講者数	受講料 ※料金規程によらない金額は赤字(無料は除く)	対象者	開催期間	会場	備考
1	教育学部	藏満 逸司(教育学研究科・准教授)	週末アジア旅入門(台湾・韓国を中心に)	20		¥2,670	一般	6月15日(土)	地域国際学習センター3階301講義 室	新規
2	教育学部	藏満 逸司(教育学研究科・准教授)	琉球切手の世界	20		¥2,670	一般	2月1日(土)	地域国際学習センター3階301講義 室	新規

一般コース:46講座

平成31年度 公開講座一覧

資料1-2

●専門コース(承認予定)

新規・継続	連番	提供学部	主任担当教員 ※青いセルは新規教員	講座名	募集人数	受講料 ※料金規程によらない金額 は赤字(無料は除く)	必要経費 ※黄色いセルは 10万円以上	申請経費内訳 (旅費は赤字、謝金や臨時雇用は青字。 消耗品において不要と思われるものは太字とする。)	備考	査定額	査定概要	今年度執行額(見込み) (H30年度)	今年度申請額 (H30年度)
継続講座	1	工学部	比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース 教授)	第二種電気工事士試験対策講習(筆記・上期)	20	¥3,700 (大学生は¥1,850)	¥10,000	その他消耗品(印刷用紙代等): 10,000円	H30年度も開講	¥10,000	減額なし	¥17,820	¥10,000
継続講座	2	工学部	比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース 教授)	第二種電気工事士試験対策講習(筆記・下期)	20	¥3,700 (大学生は¥1,850)	¥10,000	その他消耗品(印刷用紙代等): 10,000円	H30年度も開講	¥10,000	減額なし	¥15,444	¥10,000
継続講座	3	工学部	渡嘉敷健(工学部工学科建築学コース)	ホールマネージメント	10	¥3,180	¥35,000	外部講師謝金: 2h × @6,230円 × 2d = ¥24,920 測定用紙: ¥15,000	H30年度も開講	¥39,920	減額なし	¥0	¥35,000
継続講座	4	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健管理部門教授)	心理リハビリテーション(動作法) I	(有料)5人 (無料)10人	¥5,240	¥470	印刷用紙A3判1冊 A3(500枚/冊、3冊/1箱): 1,412円	H30年度も開講	¥0	必要経費希望額が印刷用紙のみのため、印刷用紙代2千円を削減 ※印刷用紙が必要な場合は、随時相談のこと	¥0	¥1,500
継続講座	5	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健管理部門教授)	心理リハビリテーション(動作法) II	(有料)5人 (無料)10人	¥4,730	¥470	印刷用紙A3判1冊 A3(500枚/冊、3冊/1箱): 1,412円	H30年度も開講	¥0	必要経費希望額が印刷用紙のみのため、印刷用紙代2千円を削減 ※印刷用紙が必要な場合は、随時相談のこと	¥0	¥1,500
継続講座	6	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健管理部門教授)	自立活動に生かす心理リハビリテーション(動作法) 出前講座 in 那覇特別支援学校	20	無 料	¥0	なし	H30年度も開講	¥0	減額なし	¥0	¥0
継続講座	7	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健管理部門教授)	自立活動に生かす心理リハビリテーション(動作法) 出前講座 in 競が丘特別支援学校	20	無 料	¥0	なし	H30年度も開講	¥0	減額なし	¥0	¥0
継続講座	8	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健管理部門教授)	自立活動に生かす心理リハビリテーション(動作法) 出前講座 in 泡瀬特別支援学校	20	無 料	¥0	なし	H30年度も開講	¥0	減額なし	¥0	¥0

●専門コース(修正依頼予定)

新規・継続	連番	提供学部	主任担当教員 ※青いセルは新規教員	講座名	募集人数	受講料 ※料金規程によらない金額 は赤字(無料は除く)	必要経費 ※黄色いセルは 10万円以上	申請経費内訳 (旅費は赤字、謝金や臨時雇用は青字。 消耗品において不要と思われるものは太字とする。)	備考	査定額	査定概要	今年度執行額(見込み) (H30年度)	今年度申請額 (H30年度)
継続講座	1	医学部	遠藤 由美子(医学部保健学 科 准教授)	看護職の研究カアップ講座	30	1回の受講につき1,000円 ↓ 2,670円に修正依頼	¥52,920	印刷用紙(A4 500枚入@400×10) = 4,000円 フラットファイル(@530×15)、クリップファイル(@760×8) = 14,030円 プリンタートナー(@12,000×1) = 12,000円 ボールペン(@170×15)、ホワイトボードマーカー(@100×2) = 2,750円 USBフラッシュメモリ(4GB)@1,200円×8 = 9,600円	H30年度も開講 (H30年度の受講料は¥3,180)	¥16,780	H30年度執行額を参考 印刷用紙4千円、プリンタートナー12千円、USBフラッシュメモリ10千円を削減	¥6,843	¥42,380
継続講座	2	工学部	比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース 教授)	第二種電気工事士試験対策講習(技能・上期)	20	¥4,730 (大学生は¥2,365) ↓ (大学生は2,365円)に修正依頼	¥45,000	消耗品(指導するために必要な資材): 40,000円 その他消耗品(印刷用紙代等): 5,000円	H30年度も開講	¥45,000	減額なし	¥58,060	¥45,000
継続講座	3	工学部	比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース 教授)	第二種電気工事士試験対策講習(技能・下期)	20	¥4,730 (大学生は¥2,365) ↓ (大学生は2,365円)に修正依頼	¥45,000	消耗品(指導するために必要な資材): 40,000円 その他消耗品(印刷用紙代等): 5,000円	H30年度も開講	¥45,000	減額なし	¥54,804	¥45,000
継続講座	4	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健管理部門教授)	心理リハビリテーション・ボランティア養成講座	50	無 料	¥154,300	那覇—久米島航空運賃24,000円(※普通運賃の場合) 那覇—石垣島航空運賃51,600円(※普通運賃の場合) 那覇—宮古島航空運賃39,200円(※普通運賃の場合) 宿泊費30,000円 セラピーマット送料(久米島教室)6,000円 印刷用紙1,500円 マジックペンなどの筆記具2,000円	各サテライトキャンパスへ配信可 H30年度も開講	¥9,500	招聘旅費は支給不可 那覇—久米島航空運賃24,000円(※普通運賃の場合)、那覇—石垣島航空運賃51,600円(※普通運賃の場合)、那覇—宮古島航空運賃39,200円(※普通運賃の場合)、宿泊費30,000円を削減	¥210,292	¥154,300
継続講座	5	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健管理部門教授)	心理リハビリテーション(動作法) キャンプ in 石垣島	(有料)10人 (無料)20人	¥3,700	¥189,000	印刷用紙代等1,500円 旅費3人×46,000円(航空運賃)+3人×8,000円(宿泊)×2泊 = 186,000円 会場使用料(未定)	石垣島にて実施 H30年度も開講	¥106,462	招聘旅費は支給不可 旅費2人×46,000円(航空運賃)+2人×8,000円(宿泊)×2泊 = 124,000円を削減 会場使用料(44,462円)は宮古島を参考	¥106,130	¥187,500と 会場使用料
継続講座	6	保健管理センター	古川 卓(グローバル教育支援機構 保健管理部門教授)	心理リハビリテーション(動作法) キャンプ in 宮古島	(有料)12人 (無料)30人	¥3,700	¥141,500	印刷用紙代等1,500円 旅費3人×46,000円(航空運賃)+3人×8,000円(宿泊)×2泊 = 186,000円 会場使用料(未定)	宮古島にて実施 H30年度も開講	¥106,462	招聘旅費は支給不可 旅費2人×46,000円(航空運賃)+2人×8,000円(宿泊)×2泊 = 124,000円を削減 会場使用料(44,462円)はH30年度執行額を参考	¥284,222	¥189,000と 会場使用料

専門コース:14講座

新規・継続	連番	提供学部	主任担当教員 ※青いセルは新規教員	講座名	募集人数	受講料 ※料金規程によらない金額 は赤字(無料は除く)	必要経費 ※黄色いセルは 10万円以上	申請経費内訳 (旅費は赤字・謝金や臨時雇用は青字。 消耗品において不要と思われるものは太字とする。)	備考	査定額	査定概要	今年度執行額(見込み) (H30年度)	今年度申請額 (H30年度)
-------	----	------	----------------------	-----	------	-----------------------------------	---------------------------	--	----	-----	------	------------------------	-------------------

●一般コース(承認予定)

新規・継続	連番	提供学部	主任担当教員 ※青いセルは新規教員	講座名	募集人数	受講料 ※料金規程によらない金額 は赤字(無料は除く)	必要経費 ※黄色いセルは 10万円以上	申請経費内訳 (旅費は赤字・謝金や臨時雇用は青字。 消耗品において不要と思われるものは太字とする。)	備考	査定額	査定概要	今年度執行額(見込み) (H30年度)	今年度申請額 (H30年度)
継続講座	1	国際地域創造学部	大島 順子 (国際地域創造学部国際地域創造学科 准教授)	やんばる山学校	20	¥3,180	¥48,275	①学生アルバイト(1名):単価760円(1時間)×6時間×2日間=9,120円、旅費:11,120円 ②講師謝金 1日目の現地視察(2時間)の案内及び夜の自然観察指導(1時間30分)の担当、2日目までのセッション(1時間)で総括に繋がるコメントターをさせて頂きます。(規程によりご準備頂きますようお願いいたします)6,230円×4.5時間=28,035円	H30年度も開講	¥48,275	減額なし	¥42,270	¥9,120 (旅費・謝金除く)
継続講座	2	国際地域創造学部	大島 順子 (国際地域創造学部国際地域創造学科 准教授)	やんばるで学ぶ世界自然遺産学習	20	¥3,180	¥9,345	①講師謝金 現場実習(フィールドワーク:1時間30分)で自然観察指導の担当をさせて頂きます。(規程によりご準備頂きますようお願いいたします)6,230円×1.5時間=9,345円	H30年度も開講	¥9,345	減額なし		¥9,120 (旅費・謝金除く)
継続講座	3	教育学部	清水 洋一(教育学部技術教育教室 教授)	おもちゃ作りを通して学ぶ地球温暖化防止親子講座	10組 (20人)	無 料	¥24,384	講座における工作・実験の補助要員及び事前準備・会場設営等の業務として、学生4名×8時間×762円=24,384円	H30年度も開講	¥24,384	減額なし	¥6,080	¥24,320
継続講座	4	教育学部	岡本 牧子(教育学部技術教育専修 准教授)	新聞記者体験 -エネルギーってなんだろう?-	20	無 料	¥30,416	学生アルバイト(3名):単価762円(1時間)×11時間(2日分)×3名分=25,146円 A3封筒、A3用紙、写真用紙、インク他:5,000円	H30年度も開講	¥30,146	減額なし	¥23,786	¥23,240
継続講座	5	教育学部	岡田 恵美(教育学部音楽教育講座 准教授)	(ものづくりと音楽体験)3Dプリンタによる楽器作りとアンサンブル体験!	10	無 料	¥37,290	・指導補助要員及び事前準備・会場設営等の業務として、学生9名(技術科4名、音楽科5名)×5時間×762円=34,290円 ・楽器試作品の材料費(プラスチック樹脂や接着剤など) 3,000円	H30年度も開講(手作り打楽器「カホン」と生活廃材楽器による「パーカッション・アンサンブル体験!)	¥37,290	減額なし	¥36,667	¥29,320
継続講座	6	教育学部	下地 敏洋(大学院教育学研究科 教授)	老年学への招待ー生涯発達から老化を考えるー	25	無 料	¥4,544	ふせん(75×75)、型番6541SS(854-429)、1束、2750円 模造紙エコノミーマルチタイプ(両面無地:20枚入)、型番830-352、1束、794円 サインペン黒(10本入)、型番S520XAD、10本、1000円	H30年度も開講(老年学への招待ー主観的幸福感をいかに高めるかー)	¥4,544	減額なし	¥0	¥4,544
継続講座	7	教育学部	三輪 一義(教育学部生涯健康教育コース 教授)	児童・生徒・指導者のためのハンドボール教室	200	無 料	¥33,200	ハンドボール3号球 2個 (モルテン 品名:ヌエバX5000 品番:H3X5001-BW 単価:¥8,400) ハンドボール2号球 2個 (モルテン 品名:ヌエバX5000 品番:H2X5001-BW 単価:¥8,200)	H30年度も開講	¥33,200	減額なし	¥0	¥33,200
継続講座	8	教育学部	三枝崎 剛(琉球大学教育学部 准教授)	結び目の数学ーひもはほどけるかー	20	無 料	¥20,000	消耗品(ロープ、安全ピン、文具など):20,000円	H30年度も開講	¥20,000	減額なし	¥22,680	¥29,120
継続講座	9	理学部	前野 昌弘(理学部物質地球科学科物理系准教授)	～物理の魅力を教えます2019～	50	無 料	¥183,600	ポスター印刷(300枚:8千円) パンフレット印刷(3000枚:1万円) 以上の発送費(県内の中学・高校2万円) 受講者に体験してもらう実験の消耗品(10万円) 学生アルバイト20名:単価760円×3時間×20=46800円	H30年度も開講	¥110,000	H30年度査定額を参考	¥56,877	¥195,000
新規講座	10	理学部	前野 昌弘(理学部物質地球科学科物理系准教授)	琉大生による理科実験教室	100	無 料	¥56,000	ポスター印刷(300枚8000円)。 パンフレット印刷(3000部8000円)。 県内小学校に発送(2万円)その他はイベントなどで配布。 受講者に体験してもらう実験・工作の消耗品(2万円)	H30年度も開講	¥46,000	H30年度査定額を参考	¥31,145	¥46,000
継続講座	11	理学部	漢那 洋子(理学部海洋自然科学科化学系 准教授)	理系女子・理系男子の世界ー道路選択とキャリア形成、生活と文化ー	20	無 料	¥2,000	消耗品(印刷用紙代等):2,000円	H30年度も開講	¥2,000	減額なし	¥0	¥5,000
継続講座	12	理学部	中川 鉄水(理学部海洋自然科学科化学系助教)	身近な化学 Part①	30	無 料	¥48,000	学生アルバイト:760円×10時間(準備・片付け含む)×5人=38,000円 実験器具10,000円	H30年度も開講 共催:一般社団法人教育振興会	¥48,000	減額なし	¥45,033	¥48,000
継続講座	13	理学部	中川 鉄水(理学部海洋自然科学科化学系助教)	身近な化学 Part②	30	無 料	¥48,000	学生アルバイト:760円×10時間(準備・片付け含む)×5人=38,000円 実験器具10,000円	H30年度も開講 共催:一般社団法人教育振興会	¥48,000	減額なし		¥48,000
継続講座	14	農学部	森山 克子(農学部健康栄養科学コース 准教授)	働き盛りのための栄養講座・クッキング part1～part3 ～仕事の活力を増進させるニュートレ～	8～10	¥2,670	¥12,600	・当日の調理補助の学生雇いあげ 5時間×760円×2人=7,600円 ・その他消耗品(印刷用紙代等):5,000円	H30年度も開講	¥7,600	印刷用紙代5千円を削減 ※印刷用紙が必要な場合は、随時相談のこと	¥0	¥12,600
継続講座	15	工学部	比嘉 広樹(工学部工学科電気システム工学コース 教授)	ロボットをつくらう	10	無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	¥104,400	学生アルバイト(5名):単価760円×3時間×5名分=48,400円 電子回路部品:5,500円×10名分=55,000円	H30年度も開講	¥104,400	減額なし	¥110,690	¥104,400
継続講座	16	工学部	金城 光永(工学部工学科電子情報通信コース 准教授)	電子工作教室(ミニ四駆とLEDを題材に)	12	無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	¥94,480	・学生アルバイト(12名): 時給760円×(7(当日)+2(事前準備))時間×12名分=82,080円 ・アルバイト事前トレーニング用基板材料+加工費:1,300円×6セット=7,800円 ・受講生用基板加工費:300円×12セット=3,600円(材料費1,000円は受講生より徴収のため、1セット300円) ・その他消耗品費(受講生への配布資料(工作完了証)用紙及びラミネート加工費):1,000円	H30年度も開講	¥94,480	減額なし	¥54,720	¥93,480
継続講座	17	工学部	勢理客 勝剛(工学部技術部技術職員)	夏休み工作教室ー ホバークラフト	10	無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	¥10,000	消耗品費(指導するために必要な資材):10,000円	H30年度も開講	¥10,000	減額なし	¥10,730	¥10,000
継続講座	18	工学部	瀧脇 秀晃(工学部技術部技術専門職員)	夏休み工作教室ー 折り紙建築	8	無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	¥2,160	北雪ケント紙1メ(100枚)B4(180k)=2,160円	H30年度も開講	¥2,160	減額なし	¥1,566	¥2,160
継続講座	19	工学部	宮城 紀良(工学部技術部技術専門職員)	夏休み工作教室ー 固形燃料で走る船	14	無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	¥13,000	銅パイプ、発泡スチロール、固形燃料等 13,000円	H30年度も開講	¥13,000	減額なし	¥16,518	¥18,000
継続講座	20	工学部	山下 大輔(工学部技術部技術職員)	夏休み工作教室ー 電子回路の製作	12	無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	¥10,000	電子部品 10,000円	H30年度も開講	¥10,000	減額なし	¥10,965	¥10,000
継続講座	21	工学部	渡慶次 高也(工学部技術部技術職員)	夏休み工作教室ー電気工事を体験しよう(小学生対象コース)	10	無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	¥10,000	消耗品費(指導するために必要な資材):10,000円	H30年度は一つの講座として開講 夏休み工作教室ー 電気工事を体験しよう	¥10,000	減額なし	¥10,634	¥10,000
継続講座	22	工学部	渡慶次 高也(工学部技術部技術職員)	夏休み工作教室ー電気工事を体験しよう(中学生対象コース)	10	無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	¥15,000	消耗品費(指導するために必要な資材):15,000円		¥10,000	減額なし		
継続講座	23	工学部	翁長 電盛(工学部技術部技術職員)	夏休み工作教室ー テストアップPC組み立て・LANケーブル作製体験ー	8	無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	¥6,000	消耗品(PC自作に必要なグリス等) 6,000円	H30年度も開講	¥6,000	減額なし	¥32,046	¥42,500
継続講座	24	工学部	山下 大輔(工学部技術部技術職員)	夏休み工作教室ー ミラクル万華鏡	10	無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	¥5,000	消耗品費(指導するために必要な資材):5,000円	H30年度も開講	¥5,000	減額なし	¥4,590	¥5,000
継続講座	25	工学部	大城 成栄(工学部技術部技術専門職員)	夏休み工作教室ー 合金を溶かして風鈴づくり	8	無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	¥15,000	消耗品費(指導するために必要な資材):15,000円	H30年度も開講	¥15,000	減額なし	¥13,859	¥20,000
継続講座	26	工学部	勢理客 勝剛(工学部技術部技術職員)	夏休み工作教室ー まわりつづけるコマ	10	無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	¥10,000	消耗品費(指導するために必要な資材):10,000円	H30年度も開講	¥10,000	減額なし	¥6,429	¥10,000
継続講座	27	工学部	渡慶次 高也(工学部技術部技術職員)	ものラボでものづくり!クリスマスイルミネーション工作教室	8	無 料 (ただし、材料費の徴収あり)	¥50,000	消耗品費(指導するために必要な資材):50,000円	H30年度も開講(クリスマスイルミネーション工作教室ー メロディ付クリスマスツリー)	¥10,000	H30年度査定額を参考	¥9,059	¥10,000
新規講座	28	人文社会学部	寺石 悦章(人文社会学部人間社会学科 教授)	シュタイナー教育実践入門講座 I	20	¥3,180	¥2,594	画用紙:B4サイズ1メ…1,000 名札ストラップ:108×2=216 名札1枚入り:108×2=216 名札10枚入り:108×2=216 ゼブラ 油性ペンハイマッキー(黒 5本入):473×2=946	新規	¥2,594	減額なし	—	—
新規講座	29	人文社会学部	寺石 悦章(人文社会学部人間社会学科 教授)	シュタイナー教育実践入門講座 II	20	¥3,180	¥2,620	画用紙:B4サイズ1メ…1,000 名札ストラップ:108×2=216 名札1枚入り:108×2=216 名札10枚入り:108×2=216 ステッドラー みつろうクレヨン太軸 8色 :972	新規	¥2,620	減額なし	—	—

新規・継続	連番	提供学部	主任担当教員 ※青いセルは新規教員	講座名	募集人数	受講料 ※料金規程によらない金額 は赤字(無料は除く)	必要経費 ※黄色いセルは 10万円以上	申請経費内訳 (旅費は赤字・謝金や臨時雇用は青字。 消耗品において不要と思われるものは赤字とする。)	備考	査定額	査定概要	今年度執行額(見込み) (H30年度)	今年度申請額 (H30年度)
-------	----	------	----------------------	-----	------	-----------------------------------	---------------------------	--	----	-----	------	------------------------	-------------------

●一般コース(修正依頼予定)

新規・継続	連番	提供学部	主任担当教員 ※青いセルは新規教員	講座名	募集人数	受講料 ※料金規程によらない金額 は赤字(無料は除く)	必要経費 ※黄色いセルは 10万円以上	申請経費内訳	備考	査定額	査定概要	今年度執行額(見込み) (H30年度)	今年度申請額 (H30年度)
新規講座	1	医学部	大湾 知子(医学部保健学科 成人・がん看護学 准教授)	世界遺産登録へ向けた沖縄伝統空手の健康技・三戦と 炭失禁・頻尿に役立つ骨盤底筋訓練	70	無 料	¥154,230	三原区公民館1階会場使用料:2時間1,000円×6時間=3,000円 クレーン使用料:1時間100円×6時間=600円 講師謝金(県内):@6,230円×3時間×7名=130,830円 講師謝金(県外):@6,600円×3時間×1名=19,800円	新規 共催:NPO法人日本コンチネン協会 沖縄県支部 ※別日で同内容の講座を開催予定 @星空公民館もしくは若狭公民館	¥19,293	謝金の時間数を講座の時間から実労働時間数に変更 講師謝金(県内):@6,230円×130分×7名=13,494円 (1,557円×2名=3,114円、2,595円×4名=10,380円) 講師謝金(県外):@6,600円×20分×1名=2,199円	—	—
新規講座	2	医学部	大湾 知子(医学部保健学科 成人・がん看護学 准教授)	コンチネンズ月間・コンチネンズデイ! めざせ!気持ちよく排泄できるコンチネンズ	70	無 料	¥37,380	講師謝金:@6,230円×1.5時間×4名=37,380円	新規 共催:NPO法人日本コンチネン協会 沖縄県支部	¥4,672	謝金の時間数を講座の時間から実労働時間数に変更 講師謝金:@6,230円×15分×3名=1,557円 講師謝金:@6,230円×30分×1名=3,115円	—	—
継続講座	3	医学部	照屋 典子(医学部保健学科 成人・がん看護学 助教)	がん患者・家族を癒す緩和ケアの実際	50	無 料	¥72,640	・講師謝金(医師2名)・・・医師10000円×2名(小計 20000円) ・講師謝金(コメディカル名)・・・7000円×2名(小計 14000円) ・学生層上げ(3名)・・・単価 762円×8時間×3名(小計 18288円) ※冊子資料作成3時間+当日運営5時間 ・A4コピー用紙(1箱5ペ入り)単価1800円×1箱・・・(小計 1800円) ・USBフラッシュメモリ(8GB 単価800円)×7個・・・(小計5600円) ・製本ファイル(5冊入り)袋 単価500円×10袋・・・(小計5000円) ・Canon カートリッジ (単価7000円)×1個・・・(小計 7000円) ・フラットファイル(A4タテ単価50円)×20冊・・・(小計1000円)	共催:沖縄赤十字病院 H30年度も開講(@中頭病院)	¥40,682	謝金の時間数を講座の時間から実労働時間数に変更 講師謝金:@6,230円×50分×1名=5,191円 講師謝金:@6,230円×30分×1名=3,115円 講師謝金:@6,230円×20分×3名=6,288円	¥26,371	¥75,575
継続講座	4	医学部	尾尻 義彦(医学部保健学科 助教)	楽楽ランニングを目指せ! NAHAマラソン完走!!	40	無 料	¥164,000	バス移動(大学と本部町八重岳往復):40,000円 ※外部講師(鍋倉賢治教授)の招聘費用(交通費・宿泊費・謝金等): 100,000円 ※学生アルバイト(ランニング実技サポート、のべ4名):24,000円	琉球大学地域国際学習センター301講 義室から各サテライトへ配信予定 H30年度も開講(めざせ! NAHAマラソン 完走へ)	¥55,150	招聘旅費は支給不可 ※外部講師(鍋倉賢治教授)の招聘費用(交通費・宿泊費・謝金等): 100,000円 ↓ 講師謝金のみ:@6,230円×5時間×1名=31,150円	—	¥0
継続講座	5	教育学部	松本 由香(教育学部家政 教育 教授)	オリジナル模様ワンピースづくり!トライ!	6	¥3,700	¥43,100	配布綿麻布生地代7体(6体+サンプル1体)×2メートル×2,000= 28,000円 製図用紙・ミシン糸・ボビン7体×300円=2,100円 ST製経用紙・顔料・サンカラー・パイプンダー=13,000円	H30年度も開講	¥19,100	布代は受益者負担してもらう。 サンプル1体分(4,000円)については査定額に含む	¥49,556	¥52,100
継続講座	6	教育学部	笹澤 吉明(教育学部 准教 授)	琉大生がサッカーと勉強を教えます!	100	無 料 ↓ 3,000円(単価表によらない)に修正 依頼	¥722,030	サッカーボール・ベスト等 消耗品費:284,830円 学生謝金 90回×2.5時間×180円×12名=456,000円【実費】 (40回×2.5時間×180円×20名=1,800,000円)	H30年度も開講 夏季は西原きらきらビーチでの開講もあ る	¥300,000	H30年度査定額を参考 開催回数を30回に抑え、支出経費は謝金及び会場使用料のみにする	¥6,480	¥720,830
新規講座	7	教育学部	濱田 栄作(教育学部・准教授)	はじめてのプログラミング体験	5	無 料	¥11,810	学生アルバイト(1名):単価762円(1時間)×5時間×1名分=3,810円 その他実験用消耗品(実験用基盤micro:bit等):8,000円	新規	¥11,810	減額なし	—	—
新規講座	8	教育学部	濱田 栄作(教育学部・准教授)	クリスマス サイエンス レクチャー	16	無 料	¥20,000	実験用消耗品20,000円	新規	¥20,000	減額なし	—	—
新規講座	9	教育学部	三枝崎 剛(教育学部・准教 授)	ルービックキューブのオリジナル解法	20	無 料	¥30,000	消耗品(ルービックキューブ、文具など):30,000円	新規	—	—	—	—
新規講座	10	教育学部	浦崎 武(教育学研究科・教職 センター 教授)	気になる子どもたちの理解と地域との連携・協働による 「トータル支援」	60	無 料	¥0	旅費①:(那覇-石垣往復航空券 17,000円×5名=85,000円、日 当2200×2日×5名=22,000円、宿泊10,400円×1泊×5名=5 2,000円、交通費1,040円×5名=5,200円) 旅費②:(那覇-宮古往復航空券 16,000円×5名=80,000円、日 当2200×2日×5名=22,000円、宿泊10,400円×1泊×5名=5 2,000円、交通費1,040円×5名=5,200円) 旅費計(323,40 0円) 消耗品(教材費等):20,000円 合計:343,400円	新規 共催:県教育委員会(八重山教育事務 所・宮古教育事務所)・石垣市・石垣市 教育委員会・竹富町教育委員会・宮古 福祉事務所・宮古島市教育委員会	¥214,040	招聘旅費は支給不可 旅費①:(那覇-石垣往復航空券 17,000円×3名=51,000円、日当 2200×2日×3名=13,200円、宿泊10,400円×1泊×3名=31,2 00円、交通費1,040円×3名=3,120円) 旅費②:(那覇-宮古往復航空券 16,000円×3名=48,000円、日当 2200×2日×3名=13,200円、宿泊10,400円×1泊×3名=31,2 00円、交通費1,040円×3名=3,120円) 旅費計(194,040円)	—	—
継続講座	11	理学部	中川 鉄水(理学部 海洋自然 科学科 化学系 助教)	水素のチカラ～水素を作る、貯める、使うを体験しよう～	30	無 料	¥147,800	燃料代(400円×4台×10時間(準備・片付け含む)×1人×3回= 4800円) 離島への旅費(交通費・宿泊費のみ):30,000円×2人×1回=60,000円 実験器具・アンモニアボラン水素発生装置制作費1,000円×5台=5,000 円 アンモニアボラン(1回2g×3回=6g):20,000円 燃料電池自動車修理・改造費(4台):40,000円	H30年度も開講 出前講座 各サテライトキャンパスにて実施予定	¥110,240	臨時雇上の旅費支給不可 離島への旅費(交通費・宿泊費のみ):30,000円×1人×1回=30,000円 それに伴い、臨時雇上の回数を3回から2回に減らす 学生アルバイト:762円×10時間(準備・片付け含む)×1人×2回=15,240 円	¥114,160	¥154,800
継続講座	12	理学部	中村 崇(海洋自然科学科生 物系 准教授)	身近な海を楽しもう～サンゴ礁の生物誌	10	¥2,670	¥0	なし	H30年度も開講	¥0	減額なし	¥0	¥0
新規講座	13	理学部	藤田 哲郎(海洋自然科学科 生物系 教授)	植物と動物のつながりを探る - イチジクの仲間を例に -	15	無 料	¥18,288	実験補助(アルバイト代、6時間×762円×4人) 18,288円	新規	¥18,288	減額なし	—	—
継続講座	14	工学部	渡嘉敷健(工学部工学科建築 学コース)	音の体験教室	50	無 料 ↓ 2,670円に修正依頼	¥35,000	記載なし(※教員に確認予定)	H30年度も開講	¥35,000	減額なし	¥1,620	¥35,000
新規講座	15	工学部	渡嘉敷健(工学部工学科建築 学コース)	沖縄の公害問題で考える平和学習	20	¥3,180	¥40,540	外部講師謝金:2h×@6,230×2d=¥24,920 学生アルバイト(3名):単価760円(1時間)×3時間×3名分=6,840 円 USBフラッシュメモリ(3個):2G 1,260円×3個=3,780円 その他消耗品(印刷用紙代等):5,000円	新規	¥31,760	USBフラッシュメモリ3,780円、印刷用紙代5,000円を削減 ※印刷用紙が必要な場合は、随時相談のこと	—	—

●一般コース(不承認予定)

新規・継続	連番	提供学部	主任担当教員 ※青いセルは新規教員	講座名	募集人数	受講料 ※料金規程によらない金額 は赤字(無料は除く)	必要経費 ※黄色いセルは 10万円以上	備考	査定額	査定概要	今年度執行額(見込み) (H30年度)	今年度申請額 (H30年度)
新規講座	1	教育学部	蔵満 逸司(教育学研究科・准 教授)	週末アジア旅入門(台湾・韓国を中心に)	20	¥2,670	¥0	なし	¥0	講座内容が琉球大学の教育研究機能の開放につながりにくいと考えられるため不承認	—	—
新規講座	2	教育学部	蔵満 逸司(教育学研究科・准 教授)	琉球切手の世界	20	¥2,670	¥0	なし	¥0	講座内容が琉球大学の教育研究機能の開放につながりにくいと考えられるため不承認	—	—

一般コース:46講座

合計額
¥3,088,386

合計額
¥2,043,197

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	第二種電気工事士試験対策講習(筆記・上期)						
② 講座の種類	一般 <input type="radio"/> 専門 <input checked="" type="radio"/>	③ 受講対象者	市民一般並びに工学系大学生	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	要 <input type="radio"/> 不要 <input checked="" type="radio"/>
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部4号館111室					⑧ サテライト配信	可 <input type="radio"/> 否 <input checked="" type="radio"/>
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	大学生の受講料は半額を希望します。			
	3,700円 (大学生は1,850円)						
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	第二種電気工事士は、一般住宅、小規模な店舗などの電気設備に対して電気工事の作業に従事するために必要な資格です。この資格は国家資格であり、合格するためには電気の基礎的知識および技術を要します。本講座では電気工事士施行令第8条にある7つの試験範囲(基礎理論、配電理論など)をわかりやすく解説し、過去問題を盛り込んで計算問題や配線図問題の解き方などが学べます。この講座は初心者の方やしっかり理論を学んで資格を取りたい方にお勧めします。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース 教授)						
	勢理客 勝則(工学部技術部 技術職員)						
	渡慶次 高也(工学部技術部 技術職員)						
山下 大輔(工学部技術部 技術職員)							
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
4月27日(土)	9:00~12:00	「基礎理論」、「一般用電気工作物の検査方法」				比嘉 晃 勢理客 勝則 渡慶次 高也 山下 大輔	
5月11日(土)		「配電理論及び配線設計」、「一般用電気工作物の保安に関する法令」					
5月18日(土)		「電気機器、配線器具並びに電気工事用の材料及び工具」、「電気工事の施工方法」					
5月25日(土)		「配線図」					
6月1日(土)		「過去問題」					
⑬ 必要経費希望額 の積算内訳	その他消耗品(印刷用紙代等):10,000円						
	合 計				10,000	円	
⑭ 備 考	本講座ではオーム社の「第二種電気工事士筆記完全マスター」(ISBN:978-4-274-50349-8)を使用します。各自持参するようにしてください。 *第二種電気工事士試験の詳細は(財)電気技術者試験センターホームページにてご確認ください。 *お問合せは勢理客勝則(E-Mail: seri@eee.u-ryukyu.ac.jp, Tel:098-895-8644, Fax:098-895-8708)にお願いします。 WEB予約サイト掲載希望期間: H30.3/13(水)~4/19(金)						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	第二種電気工事士試験対策講習(筆記・下期)									
② 講座の種類	一般	<input checked="" type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	市民一般並びに 工学系大学生	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	要	<input checked="" type="radio"/> 不要	
⑥ 共催など										
⑦ 会場	琉球大学工学部4号館111室							⑧ サテライト配信	可	<input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希 望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	大学生の受講料は半額を希望します。						
	2. 表によらない (金額及び理由を記入)		理由 (全学免除(無料)を希 望する場合、理由を選 択)							
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	第二種電気工事士は、一般住宅、小規模な店舗などの電気設備に対して電気工事の作業に従事するために必要な資格です。この資格は国家資格であり、合格するためには電気の基礎的知識および技術を要します。本講座では電気工事士施行令第8条にある7つの試験範囲(基礎理論、配電理論など)をわかりやすく解説し、過去問題を盛り込んで計算問題や配線図問題の解き方などが学べます。この講座は初心者の方やしっかり理論を学んで資格を取りたい方にお勧めします。									
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)									
	○ 比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース 教授)									
	勢理客 勝則(工学部技術部 技術職員)									
	渡慶次 高也(工学部技術部 技術職員)									
山下 大輔(工学部技術部 技術職員)										
⑫ プログラム										
実施日	時間	講座内容						担当講師		
8月31日(土)	9:00~12:00	「基礎理論」、「一般用電気工作物の検査方法」						比嘉 晃 勢理客 勝則 渡慶次 高也 山下 大輔		
9月7日(土)		「配電理論及び配線設計」、「一般用電気工作物の保安に関する法令」								
9月14日(土)		「電気機器、配線器具並びに電気工事用の材料及び工具」、「電気工事の施工方法」								
9月21日(土)		「配線図」								
9月28日(土)		「過去問題」								
⑬ 必要経費希望額 の積算内訳	その他消耗品(印刷用紙代等):10,000円									
	合 計						10,000	円		
⑭ 備 考	本講座ではオーム社の「第二種電気工事士筆記完全マスター」(ISBN:978-4-274-50349-8)を使用します。各自持参するようにしてください。 *第二種電気工事士試験の詳細は(財)電気技術者試験センターホームページにてご確認ください。 *お問合せは勢理客勝則(E-Mail: seri@eee.u-ryukyu.ac.jp, Tel:098-895-8644, Fax:098-895-8708)にお願いします。 WEB予約サイト掲載希望期間: H30.8/1(木)~8/23(金)									

平成31年度公開講座実施計画書

部局名

工学部

① 講座名	ホールマネージメント			
② コース	一般・ <input checked="" type="radio"/> 専門	③COC事業の後継事業 (予定)との連携の可否	可・ <input checked="" type="radio"/> 否	④修了証の発行について
⑥ 開催会場	琉球大学工学部2号館2F残響室・無響室及び小会議室			⑤ 受講対象者
⑧ 共催など	ホール技術者及び一般			
⑨ 受講料の希望額	3180円	理由 (単価表によらない 場合のみ記入)		
⑩ 講座の開設 趣旨・内容等	ホールマネージメントでは、文化施設や文化芸術振興分野で働く社会人及び興味を抱く人を対象として、芸術・マネジメント・工学を三本の柱に据え、総合的かつ実践的な知識の習得を提供したいと考えています。今回の講座では、音響学、音響設計、音空間の体験・無響室残響室内実験や愛される音楽ホールのつくりかた：沖縄シュガーホールとコミュニティ及びオーケストラ楽団員の練習から演奏会までの体験談について実演を行いながら解説いたします。			
⑪ 担当講師 (代表者に ○をつける)	○渡嘉敷健(工学部工学科建築学コース)			
	中村 透(琉球大学名誉教授)			
	林 峰栄(沖縄交響楽団コンサートマスター)			
⑫ プログラム				
実施日	時間	講座内容	担当講師	
10月5日	13時から15時	音響学、音響設計、音空間の体験・無響室残教室室内実験	渡嘉敷健	
10月12日	13時から15時	愛される音楽ホールのつくりかた：沖縄シュガーホールとコミュニティ	中村 透	
10月19日	13時から15時	オーケストラ楽団員の練習から演奏会までの体験談	林 峰栄	
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	外部講師謝金：2h×@6,230×2d=¥24,920、測定用紙¥15,000			
	合 計			35,000円
⑭ 備考	台風及び自然災害での日程変更			

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 グローバル教育支援機構

① 講座名	心理リハビリテーション(動作法) I						
② 講座の種類	一般 <input type="radio"/> 専門 <input checked="" type="radio"/>	③ 受講対象者	(有料)教育・福祉・医療従事者 (無料)障がい者とその家族	④ 募集人数	(有料)5人 (無料)10人	⑤ 修了証の発行	要 <input type="radio"/> 不要 <input checked="" type="radio"/>
⑥ 共催など	沖縄県教育委員会(後援名義使用)						
⑦ 会場	琉球大学保健管理センター					⑧ サテライト配信	可 <input type="radio"/> 否 <input checked="" type="radio"/>
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望する理由→	理由 (単価表によらない場合のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)	イ) 福祉的配慮が必要な方を対象とする講座			
⑩ 講座の開設趣旨・内容等	障がい者の心身のコントロールを促す方法である「動作法」を、特別支援学校教員・特別支援教育担当者、福祉施設や医療機関の専門家(臨床心理士、医師、看護師、介護福祉士、ヘルパーなど)を対象に、理論の講義と実技を通して実践的に学ぶ機会を提供する。また、障がい者とその家族は当事者として動作法を学ぶ。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	古川卓(グローバル教育支援機構保健管理部門・教授)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
5月13日(月)・20日(月)・27日(月)	16:30~19:30	講義、実習、討論				古川卓	
6月3日(月)・10日(月)・17日(月)・24日(月)	〃	〃				古川卓	
7月1日(月)・8日(月)	〃	〃				古川卓	
⑬ 必要経費希望額の積算内訳	印刷用紙A3判ひとび ※A3(500枚/び, 3び/1箱):1,412円						
	合 計					470	円
⑭ 備 考	障がい者の心身のコントロールを促す方法である「動作法」を、特別支援学校教員・特別支援教育担当者、福祉施設や医療機関の専門家(臨床心理士、医師、看護師、介護福祉士、ヘルパーなど)を対象に、理論の講義と実技を通して実践的に学ぶ機会を提供する。また、障がい者とその家族は当事者として動作法を学ぶ。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 グローバル教育支援機構

① 講座名	心理リハビリテーション(動作法)Ⅱ						
② 講座の種類	一般 <input type="radio"/> 専門 <input checked="" type="radio"/>	③ 受講対象者	(有料)教育・福祉・医療従事者 (無料)障がい者とその家族	④ 募集人数	(有料)5人 (無料)10人	⑤ 修了証の発行	要 <input type="radio"/> 不要 <input checked="" type="radio"/>
⑥ 共催など	沖縄県教育委員会(後援名義使用)						
⑦ 会場	琉球大学保健管理センター					⑧ サテライト配信	可 <input type="radio"/> 否 <input checked="" type="radio"/>
⑨ 受講料	1.単価表の通り (下記に金額記入) 2.表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	イ)福祉的配慮が必要な方を対象とする講座			
	一部無料						
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	障がい者の心身のコントロールを促す方法である「動作法」を、特別支援学校教員・特別支援教育担当者、福祉施設や医療機関の専門家(臨床心理士、医師、看護師、介護福祉士、ヘルパーなど)を対象に、理論の講義と実技を通して実践的に学ぶ機会を提供する。また、障がい者とその家族は当事者として動作法を学ぶ。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	古川卓(グローバル教育支援機構保健管理部門・教授)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
9月30日(月)	16:30~19:30	講義、実習、討論					古川卓
10月7日(月)・21日 (月)・28日(月)	〃	〃					古川卓
11月11日(月)・18 日(月)・25日(月)	〃	〃					古川卓
12月9日(月)	〃	〃					古川卓
⑬ 必要経費希望額 の積算内訳	印刷用紙A3判ひとび ※A3(500枚/び, 3び/1箱):1,412円						
	合 計					470	円
⑭ 備 考	障がい者の心身のコントロールを促す方法である「動作法」を、特別支援学校教員・特別支援教育担当者、福祉施設や医療機関の専門家(臨床心理士、医師、看護師、介護福祉士、ヘルパーなど)を対象に、理論の講義と実技を通して実践的に学ぶ機会を提供する。また、障がい者とその家族は当事者として動作法を学ぶ。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 グローバル教育支援機構

① 講座名	自立活動に活かす動作法出前講座in那覇特別支援学校						
② 講座の種類	一般 ・ <input checked="" type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	特別支援学校教員 児童生徒	④ 募集人数	20人	⑤ 修了証の発行	要 ・ <input checked="" type="radio"/> 不要
⑥ 共催など	沖縄県立那覇特別支援学校						
⑦ 会場	沖縄県教育委員会(後援名義使用)					⑧ サテライト配信	可 ・ <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	0円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	心理リハビリテーション(動作法)は、特別支援学校の教科の一つである「自立活動」に取り入れられている方法のひとつである。本講座では、動作法の実践を行っている沖縄県立那覇特別支援学校に講師が訪問し、「自立活動」の時間に希望する児童生徒とその保護者、教員に向けて動作法の実践を指導する出前講座である。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	古川卓(グローバル教育支援機構保健管理部門・教授)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
4月26日(金)	9:30~15:00	実技指導・実習				古川 卓	
9月13日(金)	〃	〃				古川 卓	
2月14日(金)	〃	〃				古川 卓	
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳							
	合 計					0円	
⑭ 備 考	沖縄県立那覇特別支援学校の児童生徒と保護者、教員を対象とした講座ですので、原則は本校関係者となります。他の学校から参加を希望なされる場合は、事前に沖縄県立那覇特別支援学校にお問い合わせください。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 グローバル教育支援機構

① 講座名	自立活動に活かす動作法出前講座in鏡が丘特別支援学校						
② 講座の種類	一般 ・ <input checked="" type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	特別支援学校教員 児童生徒	④ 募集人数	20人	⑤ 修了証の発行	要 ・ <input checked="" type="radio"/> 不要
⑥ 共催など	沖縄県立鏡が丘特別支援学校						
⑦ 会場	沖縄県教育委員会(後援名義使用)					⑧ サテライト配信	可 <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) ②. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	0円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	心理リハビリテーション(動作法)は、特別支援学校の教科の一つである「自立活動」に取り入れられている方法のひとつである。本講座では、動作法の実践を行っている沖縄県立鏡が丘特別支援学校に講師が訪問し、「自立活動」の時間に希望する児童生徒とその保護者、教員に向けて動作法の実践を指導する出前講座である。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	古川卓(グローバル教育支援機構保健管理部門・教授)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
9月27日(金)	9:00~13:00	実技指導				古川 卓	
10月4日(金)	9:00~13:00	実技指導				古川 卓	
1月17日(金)	9:00~13:00	実技指導				古川 卓	
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳							
	合 計					0円	
⑭ 備 考							

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 グローバル教育支援機構

① 講座名	自立活動に活かす動作法出前講座in泡瀬特別支援学校						
② 講座の種類	一般 ・ <input checked="" type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	特別支援学校教員 児童生徒	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	要 ・ <input checked="" type="radio"/> 不要
⑥ 共催など	沖縄県教育委員会(後援名義使用)						
⑦ 会場	沖縄県立泡瀬特別支援学校					⑧ サテライト配信	可 ・ <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) ②. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	0円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	心理リハビリテーション(動作法)は、特別支援学校の教科の一つである「自立活動」に取り入れられている方法のひとつである。本講座では、動作法の実践を行っている沖縄県立泡瀬特別支援学校に講師が訪問し、「自立活動」の時間に希望する児童生徒とその保護者、教員に向けて動作法の実践を指導する出前講座である。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	古川卓(グローバル教育支援機構保健管理部門・教授)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
8月29日(木)	9:00~13:00	講義、実習				古川卓	
9月20日(金)	9:00~15:00	実技指導				古川卓	
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳							
	合 計					0円	
⑭ 備 考	沖縄県立泡瀬特別支援学校の児童生徒と保護者、教員を対象とした講座ですので、原則は本校関係者とします。他の学校から参加を希望なさる場合は、事前に沖縄県立泡瀬特別支援学校にお問い合わせください。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 医学部

① 講座名	看護職の研究力アップ講座						
② 講座の種類	一般 ・ <input checked="" type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	臨床看護研究を実施予定または実施中の看護職	④ 募集人数	30人	⑤ 修了証の発行	要 <input checked="" type="radio"/> 不要
⑥ 共催など	なし						
⑦ 会場	琉球大学医学部保健学科棟2階 213室					⑧ サテライト配信	可 <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) ② 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合のみ記入)	減額することにより、多くの受講生の参加を期待するため。			
	① 回の受講につき1,000円	全学免除(無料)を希望する理由→	理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・内容等	<p>現在、看護研究は多くの医療機関で行われています。でも、実際に研究をしてみると、研究テーマはこれでいいのだろうか？ 結果をどうまとめて発表したらいいかかわらない・・・、研究の相談にのってくれる人がいたら・・・。いろいろな悩みがあると思います。</p> <p>本講座では、看護研究に役立つ基礎知識が学べる講座です。 日頃の業務で感じている看護の疑問や課題を解決するために、研究をしてみませんか？</p>						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○遠藤由美子(医学部保健学科准教授) 眞榮城千夏子(医学部保健学科講師)						
	高原美鈴(医学部保健学科助教) 平安名由美子(医学部保健学科助教)						
	豊里竹彦(医学部保健学科教授) 國吉緑(医学部保健学科教授)						
	與古田孝夫(医学部保健学科教授)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
6月22日(土)	14:00～16:00	現場の課題をどう研究につなげる？ (看護研究概論、研究計画書作成についての講義、グループワーク、個別相談)					全講師
2019年11月2日(土)	14:00～16:00	現場の課題をどう研究につなげる？ (看護研究概論、研究計画書作成についての講義、グループワーク、個別相談)					全講師
11月16日(土)	14:00～16:00	効果的な発表のために(パワーポイントを使った発表原稿の作り方:講義と演習、個別相談)					全講師
1月25日(土)	14:00～16:00	効果的な発表のために(パワーポイントを使った発表原稿の作り方:講義と演習、個別相談)					全講師
⑬ 必要経費希望額の積算内訳	印刷用紙(A4 500枚入@400×15)=6,000円 フラットファイル(@530×30)、クリップファイル(@760×7)=21,220円 プリンタートナー(@12,000×1)=12,000円 ボールペン(@170×30)、ホワイトボードマーカー(@100×2) =5,300円 USBフラッシュメモリ(4GB)@1,200円×7=8,400円						
	合 計					52,920	円
⑭ 備 考	本講座は1回完結型の講座です。同じ内容を2回ずつ開講しますので、ご都合がつく回を受講ください。研究の個別相談の時間がありますので、相談を希望の方は研究計画書等資料をご持参下さい。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	第二種電気工事士試験対策講習(技能・上期)						
② 講座の種類	一般 <input type="radio"/> 専門 <input checked="" type="radio"/>	③ 受講対象者	市民一般並びに工学系大学生	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	要 <input type="radio"/> 不要 <input checked="" type="radio"/>
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)					⑧ サテライト配信	可 <input type="radio"/> 否 <input checked="" type="radio"/>
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	大学生の受講料は半額を希望します。			
	4,730円 (大学生は2,300円)						
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	第二種電気工事士は、一般住宅、小規模な店舗などの電気設備に対して電気工事の作業に従事するために必要な資格です。この資格は国家資格であり、合格するためには電気の基礎的知識および技術を要します。本講座では(財)電気技術者試験センターから公表された候補問題13問題を実際に作り、合格するために必要な基礎的技術を学ぶことができます。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース 教授)						
	勢理客 勝則(工学部技術部 技術職員)						
	渡慶次 高也(工学部技術部 技術職員)						
山下 大輔(工学部技術部 技術職員)							
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
6月8日(土)～ 7月20日(土)	9:00～12:00	基本作業、安全注意並びに候補問題への取り組み				比嘉 晃 勢理客 勝則 渡慶次 高也 山下 大輔	
毎週土曜、全8回 6/29(土)のみ2回 分行います。	6/29(土)のみ 9:00～12:00 13:00～16:00						
⑬ 必要経費希望額 の積算内訳	消耗品費(指導するために必要な資材):40,000円 その他消耗品(印刷用紙代等):5,000円						
	合 計					45,000	円
⑭ 備 考	初日、材料費として3,000円(全8回分)をご負担いただきます。作業に必要な工具はこちらで準備いたします(貸出可)。講習は筆記試験可否発表前に行いますので、筆記試験の自己採点が合格ラインを突破していることをご確認後お申込みください。全8回実施するため2回分を行う日があります。各自で任意の保険にご加入ください(必須)。 *第二種電気工事士の詳細は(財)電気技術者試験センターにお問い合わせください。 *お問合わせは勢理客勝則(E-Mail: seri@eee.u-ryukyuu.ac.jp, Tel:098-895-8644, Fax:098-895-8708)にお願いします。 WEB予約サイト掲載希望期間: H30.5/8(水)～6/7(金)						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	第二種電気工事士試験対策講習(技能・下期)						
② 講座の種類	一般 <input type="radio"/> 専門 <input checked="" type="radio"/>	③ 受講対象者	市民一般並びに工学系大学生	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	要 <input type="radio"/> 不要 <input checked="" type="radio"/>
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)					⑧ サテライト配信	可 <input type="radio"/> 否 <input checked="" type="radio"/>
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合のみ記入)	大学生の受講料は半額を希望します。			
	4,730円 (大学生は2,300円)	全学免除(無料)を希望する 場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・内容等	第二種電気工事士は、一般住宅、小規模な店舗などの電気設備に対して電気工事の作業に従事するために必要な資格です。この資格は国家資格であり、合格するためには電気の基礎的知識および技術を要します。本講座では(財)電気技術者試験センターから公表された候補問題13問題を実際に作り、合格するために必要な基礎的技術を学ぶことができます。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース 教授)						
	勢理客 勝則(工学部技術部 技術職員)						
	渡慶次 高也(工学部技術部 技術職員)						
山下 大輔(工学部技術部 技術職員)							
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
10月12日(土)～ 11月30日(土) 毎週土曜、全8回	9:00～12:00	基本作業、安全注意並びに候補問題への取り組み				比嘉 晃 勢理客 勝則 渡慶次 高也 山下 大輔	
⑬ 必要経費希望額の積算内訳	消耗品費(指導するために必要な資材):40,000円 その他消耗品(印刷用紙代等):5,000円						
	合 計				45,000		円
⑭ 備 考	初日、材料費として3,000円(全8回分)をご負担いただきます。作業に必要な工具はこちらで準備いたします(貸出可)。講習は筆記試験合否発表前から行いますので、筆記試験の自己採点が合格ラインを突破していることをご確認お申込みください。各自で任意の保険にご加入ください(必須)。 *第二種電気工事士の詳細は(財)電気技術者試験センターにお問い合わせください。 *お問い合わせは勢理客勝則(E-Mail: seri@eee.u-ryukyu.ac.jp, Tel:098-895-8644, Fax:098-895-8708)にお願いします。 WEB予約サイト掲載希望期間: H30.9/4(水)～10/11(金)						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 グローバル教育支援機構

① 講座名	心理リハビリテーション・ボランティア養成講座						
② 講座の種類	一般 ・ <input checked="" type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	教育・福祉・医療従事者、障がい児(者)の家族、学生等	④ 募集人数	50 人	⑤ 修了証の発行	要 ・ <input checked="" type="radio"/> 不要
⑥ 共催など	沖縄県教育委員会(後援名義使用)						
⑦ 会場	琉球大学学生会館3階特別会議室					⑧ サテライト配信	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合のみ記入)	ア)福祉・健康に関する講座			
	0円	全学免除(無料)を希望する理由→	理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・内容等	心理学で「からだ」というとき、それは肉体ばかりでなく、同時に「わたし(自我)」という「こころ」の存在を意味します。心理リハビリテーションは、障がいのある人の心身の成長・健康を支援する方法として開発されましたが、現在は障がいのある・なしに関わりなく、心身のコンディションを高め・維持する方法として日本全国で活用されています。沖縄県では、心身に障がいのある人とその家族が、心理リハビリテーション(動作法)を学ぶ勉強会を沖縄本島(西原町、名護市)、石垣市、宮古島市などで開催しています。本講座では、このような活動をサポートする専門家の方、当事者のご家族のための入門講座です。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○古川卓(グローバル教育支援機構保健管理部門)、金城昇(琉球大学名誉教授)、金城志麻(琉球大学障がい学生支援室)						
	平山篤史・野村れいか(沖縄国際大学)、与那嶺司(沖縄統合医療学院)、						
	宮城茂(沖縄県立鏡が丘特別支援学校)、鳥養広(沖縄県立大平特別支援学校)、上原均(元八重山特別支援学校)						
	伊志嶺ユカリ(宮古島徳洲会病院)、我喜屋良行・高江洲慶(国立病院機構琉球病院)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
4月27日(土)	9:30~10:15	講義Ⅰ				古川卓	
	10:30~11:30	講義Ⅱ				金城昇	
	11:30~12:30	ランチセミナー(※障がい児者の家族限定です。対象でない方は昼食休憩です。)				金城志麻	
	13:00~16:30	バズセッション(実技講習)				全講師	
⑬ 必要経費希望額の積算内訳	那覇ー久米島航空運賃24,000円(※普通運賃の場合) 那覇ー石垣島航空運賃51,600円(※普通運賃の場合) 那覇ー宮古島航空運賃39,200円(※普通運賃の場合) 宿泊費30,000円 セラピーマット送料(久米島教室)6,000円 印刷用紙1,500円 マジックペンなどの筆記具2,000円						
	合 計					154,300 円	
⑭ 備 考							

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 グローバル教育支援機構

① 講座名	心理リハビリテーション(動作法)in石垣島						
② 講座の種類	一般 ・ <input checked="" type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	(有料)教育・福祉・医療従事者(無料)障がい者とその家族	④ 募集人数	(有料)10人 (無料)20人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要 ・ 不要
⑥ 共催など	NPO法人 ちゅらハウス(共催) / 沖縄県教育委員会(後援名義使用)						
⑦ 会場	NPO法人 ちゅらハウス					⑧ サテライト配信	可 <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	①.単価表の通り (下記に金額記入) ②.表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合のみ記入)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	円	全学免除(無料)を希望する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・内容等	八重山地区で障がい・者の援助を行っている専門家(教育、福祉、医療)に、障がい・者の心身のコントロールを促す方法である「動作法」を、理論の講義と実技、ならびに臨床実習を通して実践的に学ぶ機会を提供する。また、地域の障がいとその家族に対し、個別に指導を行う。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○古川卓(グローバル教育支援機構保健管理部門・教授)						
	金城昇(琉球大学・名誉教授)						
	高江洲慶(国立病院機構琉球病院・心理士)						
	上原仁(元沖縄県立八重山特別支援学校・教諭)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
7月13日(土)	10:00~16:00	講義、実習、討論				全講師	
7月14日(日)	10:00~16:00	実習、討論				全講師	
⑬ 必要経費希望額の積算内訳	印刷用紙代等1,500円 旅費3人×46,000円(航空運賃)+3人×8,000円(宿泊)×2泊=186,000円 会場使用料(未定)						
	合 計					189,000	
⑭ 備 考	参加者は期間中、講座に協力する障がい者の担当インストラクターとなります。動作練習を行いますので動きやすい服装で参加してください。なお、保険料として1,500円程度ご負担いただきます。また、補助テキストは2,200円です(希望者のみ)。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 グローバル教育支援機構

① 講座名	心理リハビリテーション(動作法)キャンプin宮古島						
② 講座の種類	一般 ・ <input checked="" type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	(有料)教育・福祉・医療従事者(無料)障がい者とその家族	④ 募集人数	(有料)12人 (無料)30人	⑤ 修了証の発行	要 <input type="radio"/> 不要 <input checked="" type="radio"/>
⑥ 共催など	沖縄県教育委員会(後援名義使用)						
⑦ 会場	沖縄県立宮古特別支援学校(交渉中)					⑧ サテライト配信	可 <input type="radio"/> 否 <input checked="" type="radio"/>
⑨ 受講料	①.単価表の通り (下記に金額記入) 2.表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合のみ記入)	ウ)児童・生徒を対象とする講座			
	円	全学免除(無料)を希望する 理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)	理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・内容等	宮古島地区で障がい児・者の援助を行っている専門家(教育、福祉、医療)に、障碍児・者の心身のコントロールを促す方法である「動作法」を、理論の講義と実技、ならびに臨床実習を通して実践的に学ぶ機会を提供する。また、地域の障がい児とその家族に対し、個別的に指導を行う。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○古川卓(グローバル教育支援機構保健管理部門・教授)						
	金城昇(琉球大学・名誉教授)						
	伊志嶺ユカリ(宮古島徳洲会病院・理学療法士)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
7月24日(水)	10:00～16:00	講義、実習、討論					全講師
7月25日(木)	10:00～16:00	実習、討論					全講師
7月26日(金)	10:00～12:00	実習、討論					全講師
⑬ 必要経費希望額の積算内訳	印刷用紙代等1,500円 旅費2人×46,000円(航空運賃)+2人×8,000円(宿泊)×3泊=140,000円 会場使用料(未定)						
	合 計					141,500円	
⑭ 備 考	参加者は期間中、講座に協力する障がい者の担当インストラクターとなります。動作練習を行いますので動きやすい服装で参加してください。なお、保険料として1,500円程度ご負担いただきます。また、補助テキストは2,200円です(希望者のみ)。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名

① 講座名	やんばる山学校									
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般	<input type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	市民一般(中学生以上)	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要	<input type="radio"/> 不要	
⑥ 共催など	【開催協力】琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター与那フィールド(宿泊及び講義室提供)、国頭村森林組合(視察及び会場提供、話題提供)、(社)やんばるビジョン(講師担当、現地案内)									
⑦ 会場	琉球大学「与那フィールド」及び国頭村内の森林やダム周辺、海岸エリア							⑧ サテライト配信	<input type="radio"/> 可	<input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)							
	3,180 円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)							
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	沖縄島北部やんばるの山は、琉球弧の地史を背景に独自の進化をとげた多種多様な野生動植物が生息・生育し、国や沖縄県が目指す世界自然遺産登録(推薦地)の中核をなす地域です。今年度のやんばる山学校では、世界自然遺産へ登録するほどの価値を持つ森林(⇔自然遺産が、人の暮らしにどれほどの利益をもたらすものなのか?)と人の命の源である水資源のつながりを自らの目で確認することから始め、二つのテーマでやんばるを探究します。一つ目は、やんばるで行われている林業の現場視察を通して、森林の多面的機能を考え、人の暮らしの根源をもとに今後のやんばるの森のより有効な森林の利活用のあり方を考えます。二つ目は、県民の水がめとしてのダムはもとより水源涵養林の役割を果たすやんばるの森から、短い河川を通り、海岸線までの流域や河口までを辿り、河川環境下で起きている問題にせまります。体験やワークショップなど能動的な学習方法を取り入れながら進める本講座では、主体的で深い対話的な学びを実感できます。									
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)									
	<input type="radio"/> 大島 順子 (国際地域創造学部准教授)									
	<input type="radio"/> 高嶋 敦史 (農学部附属 亜熱帯フィールド科学教育研究センター与那フィールド助教)									
	<input type="radio"/> 久高 将和 (一般社団法人やんばるビジョン代表理事)									
⑫ プログラム										
実施日	時間	講座内容							担当講師	
11月23日(土・祝日)	10:00~20:30	現地集合～やんばるの森とダムから海岸線までの見学～やんばるの森を多面的に学ぶワークショップ～夜のやんばるの森の体験							大島・高嶋・久高	
11月24日(日)	9:00~15:30	移動～森林組合工場見学～やんばるの森を支える体験プログラム～ふりかえり・まとめ～現地解散							大島・高嶋・久高	
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	①学生アルバイト(1名):単価760円(1時間)×6時間×2日間=9,120円、 旅費:11,120円 ※受付、与那フィールドでの調理(夕食・朝食等)および現場視察や体験プログラムの運営補助を行う。 ②講師謝金 1日目の現地視察(2時間)の案内及び夜の自然観察指導(1時間30分)の担当、2日目まとめのセッション(1時間)で総括に繋がるコメンテーターをして頂きます。(規程によりご準備頂きますようお願いいたします) 6,230円×4.5時間=28,035円									
	合 計							48,275	円	
⑭ 備 考	中学生以上を対象。当日は現地集合・解散。 万一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に加入して下さい(必須) 。雨天決行ですが、天候の状況を見て、内容を変更する場合があります。※申込者には、別途詳細の案内をお送りします。									

平成31年度公開講座実施計画書

部局名

① 講座名	やんばるで学ぶ世界自然遺産学習						
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	市民一般(高校生以上)、教育関係者及び観光関連事業者	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要 ・ 不要
⑥ 共催など	【開催協力】琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター与那フィールド、(社)やんばるビジョン						
⑦ 会場	琉球大学「与那フィールド」及び国頭村内の森林エリア					⑧ サテライト配信	可 ・ <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合のみ記入)				
	3,180 円	全学免除(無料)を希望する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・内容等	世界遺産は、自然科学や人文科学、そして社会科学など多角的な学問、学習分野を包含しているため、生涯にわたって学習できる機会を与えてくれる興味深いテーマです。しかしながら、現在では世界遺産登録後の活用ばかりに関心が注がれ、肝心な世界遺産への正しい理解や適正な活用のあり方を学ぶ機会が少ないのが現状です。世界遺産をいかに保護、保全し、未来へと継承していくのか、世界遺産地域への訪問客のみならず地域住民に対しても、あらゆる機会を活用した学びの場づくりが必要となります。本講座では、世界自然遺産候補に挙げられているやんばるで、学校教育や社会教育、観光の現場で実践できる世界自然遺産学習をテーマに、その意義や内容、教材開発について実践的に学ぶ、沖縄で初めての世界自然遺産学習の講座です。今後沖縄に必要となる世界遺産学習を担う教育者・実践者の育成につなげていきたいと思っております。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	<input type="radio"/> 大島 順子 (国際地域創造学部准教授)						
	<input type="radio"/> 蔵満 逸司 (琉球大学教職大学院准教授)						
	<input type="radio"/> 久高 将和 (一般社団法人やんばるビジョン代表理事)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
6月1日(土)	9:30~16:00	現地集谷(与那フィールド)～オリエンテーション～講義～現場実習(フィールドワーク)～教材やプログラムの開発～まとめ・ふりかえり～解散					大島・蔵満・久高
⑬ 必要経費希望額の積算内訳	①講師謝金 現場実習(フィールドワーク:1時間30分)で自然観察指導の担当をして頂きます。(規程によりご準備頂きますようお願いいたします)6,230円×1.5時間=9,345円						
	合 計					9,345	円
⑭ 備 考	高校生以上を対象。当日は現地集合・解散。万一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に加入して下さい(必須)。雨天決行ですが、天候の状況を見て、内容を変更する場合があります。※申込者には、別途詳細の案内をお送りします。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 教育学部

① 講座名	おもちゃ作りを通して学ぶ地球温暖化防止親子講座						
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	小学校4～6年生と保護者	④ 募集人数	10組(20人)	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要 ・ 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学教育学部102教室					⑧ サテライト配信	可 <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	0 円						
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	<p>沖縄県は産業や生活に必要なエネルギー資源の殆どを海外からの輸入に頼っており、持続可能な社会を実現する上で問題があります。特に、東日本大震災以後、エネルギーの安定確保はもとより、協定における地球温暖化対策に向けて、私たち一人ひとりがライフスタイルを見直し、二酸化炭素(CO₂)をはじめとする温室効果ガス的大幅な削減や様々な省エネを実践することが求められています。</p> <p>本講座では、身近な材料を用いた模型風力発電機及び模型電気自動車の工作・実験を通して、再生可能エネルギーやエネルギーの変換などについて学ぶとともに、地球温暖化防止について親子で考えてみましょう。 工作・実験が好きな親子、集まってください。</p>						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○清水 洋一(教育学部技術教育教室教授)						
	上地 飛夢(教育学部技術専門職員)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
7月21日(日)	13:00～16:00	座学(1時間)と工作・実験(2時間)				清水・上地	
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	講座における工作・実験の補助要員及び事前準備・会場設営等の業務として、学生4名×8時間×762円=24,384円						
	合 計				24,384		円
⑭ 備 考	<p>当日、材料費(風力発電工作キット、電気二重層コンデンサー、モーターなど)として1,000円を徴収いたします。製作した風力発電機と模型電気自動車はお持ち帰りください。</p>						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名

教育学部

① 講座名	新聞記者体験 -エネルギーってなんだろう?-						
② 講座の種類	一般	③ 受講対象者	小学4～6年生とその保護者	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	教育学部 本館 101					⑧ サテライト配信	否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	0 円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	「エネルギーを大切に!」「省エネ!」など、エネルギーという言葉をよく耳にしますが、そもそもエネルギーとは何なのでしょう? この講座では、使われなくなった木くずを再利用して、発電用の燃料をつくる施設(うるま市)や、使用済みのてんぷら油で発電する施設(沖縄市)取材し、新聞作りチャレンジします。身近なエネルギーについて、自分で集めたインタビュー記事や写真を使ってエネルギー新聞を作ってみよう!						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 岡本牧子 (教育学部技術教育専修 准教授)						
	濱田栄作 (教育学部理科教育専修 准教授)						
	清水洋一 (教育学部技術教育専修 教授)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
7月20日	9:00 - 16:00	近隣のエネルギー施設への取材体験と資料整理					岡本牧子、濱田栄作、清水洋一
7月21日	10:00 - 12:00	新聞づくり					岡本牧子、濱田栄作、清水洋一
⑬ 必要経費希望額の積算内訳							
学生アルバイト(3名): 単価762円(1時間)×11時間(2日分)×3名分=25,146円 A3封筒,A3用紙 写真用紙、インク他:5,000円							
合 計				30,416		円	
⑭ 備 考	2名以上の児童とその保護者を含むグループで参加してください(グループで新聞をつくります)。申し込みの際は、同グループの参加者氏名を備考欄等に記載をお願いします(グループ数確認のため)。小学校4～6年生であれば、ご兄弟で参加してもOKです。対象学年以外のご兄弟の同伴も可能ですが、バスの座席確保のため、お申し込みの際は参加される方すべてのご記入をお願い致します。取材で写真を撮影しますので、可能な方はデジタルカメラをお持ちください(プリントは講座中で行います)。取材はバスで移動しますので、お弁当(昼食)と飲み物を持参してください。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 教育学部

① 講座名	〈ものづくりと音楽体験〉3Dプリンタによる楽器作りとアンサンブル体験！						
② 講座の種類	一般	③ 受講対象者	主に小学校高学年・中学生 (保護者の参加可)	④ 募集人数	10人	⑤ 修了証の発行	要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学教育学部 教育実践棟 実践指導室AB室(1階)					⑧ サテライト配信	否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	無料	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	小学校高学年・中学生を対象とした、ものづくりと音楽体験の講座です。午前は大学生達と一緒に、3Dプリンタや生活廃材を使って楽器を製作します。午後は手作りの楽器を用いて、大人数でのアンサンブル(合奏)を楽しむ内容です。製作した楽器は、各自お持ち帰り頂きますので、小学生は夏休みの自由工作としてお薦めです。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 岡田 恵美 (教育学部・音楽教育講座・准教授)						
	清水 洋一 (教育学部・技術教育講座・教授)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
2019年8月3日(土)	9:55	琉球大学教育学部 音楽棟に集合					
	10:00-12:00	3Dプリンタや生活廃材を用いた楽器作り					清水 洋一
	12:00-13:00	昼食 (琉球大学・学生中央食堂にご案内致します)					
	13:00-15:00	製作した楽器を用いたアンサンブル体験					岡田 恵美
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・指導補助要員及び事前準備・会場設営等の業務として、学生9名(技術科4名、音楽科5名)×5時間×762円=34,290円 ・楽器試作品の材料費(プラスチック樹脂や接着剤など) 3,000円 						
	合 計					37,290	円
⑭ 備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・当日、楽器製作に必要な材料費として500円徴収致します。製作した楽器は各自お持ち帰りできます。 ・昼食時間は琉球大学キャンパス内の学生中央食堂に移動します。食堂ランチを注文する場合は、当日500円程度ご持参ください。またアレルギー等がある場合は、お弁当のご持参も可能です。 ・汚れても良く、動きやすい服装でご参加下さい。 						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 教育学部

① 講座名	老年学への招待－生涯発達から老化を考える－			
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者		④ 募集人数 25 人 ⑤ 修了証の発行 要 ・ <input checked="" type="radio"/> 不要
⑥ 共催など				
⑦ 会場	琉球大学教育学部棟103号室			⑧ サテライト配信 可 <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ア)福祉・健康に関する講座
	0円			
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	<p>超高齢社会が進展する中で、高齢者及び高齢期の現状と課題及び老化のプロセスを理解することは、人生を理解し健康長寿を目指す上で、必要性がますます高くなっている。</p> <p>本講座では、老年学の研究成果を通して社会的、生物学的、及び心理学的な領域から正しい老化のプロセスを学ぶ機会を提供することで、加齢に伴う心身の変化や主観的幸福感について、講義と話し合いを通して理解を深めることを目的としている。</p> <p>講義の内容は、理論と実践の融合を目指し、「生涯発達」を共通のコンセプトとして、お互いの議論を通して正しい老化のプロセスに対して理解を深め、主観的幸福感を高めることである。</p>			
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)			
	下地敏洋(琉球大学大学院教育学研究科教授)			
⑫ プログラム				
実施日	時間	講座内容	担当講師	
6月22日	10:20～11:50	老年学と生涯発達について	琉大 下地	
6月29日	10:20～11:50	老化のプロセスと健康長寿について	琉大 下地	
7月6日	10:20～11:50	主観的幸福感の要因と生きがいについて	琉大 下地	
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	ふせん(75×75)、型番6541SS(854-429)、1束、2750円 模造紙エコノミープルタイプ(両面無地:20枚入)、型番830-352、1束、794円 サインペン黒(10本入)、型番S520XAD、10本、1000円			
	合 計			4,544
⑭ 備 考	教室が変更になることがあります。			

平成31年度公開講座実施計画書

部局名

教育学部

① 講座名	児童・生徒・指導者のためのハンドボール教室			
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般	<input type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	ハンドボール愛好者
			④ 募集人数	200人
			⑤ 修了証の発行	要・ <input type="radio"/> 不要
⑥ 共催など	琉球大学男女ハンドボール部・教育学部保健体育専修・沖縄県ハンドボール協会			
⑦ 会場	琉球大学第一体育館			⑧ サテライト配信
				可・ <input type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座
	無料	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	沖縄県内の小学生・中学生・高校生およびその指導者に対し、ハンドボール競技の技術・戦術・指導法を伝えることを基本とします。対象のレベルに応じた技術・戦術・指導法について、よりの確に対象者が身につけることを目的とします。原則として、受講生を限定せず、学校の部活動単位での集合型公開講座を主たる形態とします。			
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)			
	三輪一義 (琉球大学教育学部保健体育専修 教授)			
⑫ プログラム				
実施日	時間	講座内容		担当講師
4月6日(土)	土曜日:			
~	13:00~17:00	ハンドボールの技術・戦術・指導法とその理論		
3月8日(日)	日曜日:			
	10:00~16:00			
<別紙参照>	(休憩を除く)			
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	ハンドボール3号球 2個 (モルテン 品名:ヌエバX5000 品番:H3X5001-BW 単価:¥8,400) ハンドボール2号球 2個 (モルテン 品名:ヌエバX5000 品番:H2X5001-BW 単価:¥8,200) (主に児童生徒を対象とした講座のため、ガイダンスに従い受講料を無料にしておりますので、必要経費の要求は気が引けますが、希望額を提示します。 配分可能な範囲で購入して頂けると助かります。)			
	合 計		33,200	円
⑭ 備 考	集合型公開講座のスタイルは実質的に5年前より実施しており、平成30年度実績において、参加者は延べ人数で、児童生徒801人、指導者65人(平成30年12月末時点)に及びます。 実技指導の補助員に、琉球大学男女ハンドボール部員および教育学部保健体育科有志学生を充てて、これまで5年間の指導経験を踏まえて、指導内容を充実させる予定です。			

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 教育学部

① 講座名	結び目の数学—ひもはほどけるか—			
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ <input type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	一般市民、中・高生	④ 募集人数 20 人
⑤ 修了証の発行	要 <input type="radio"/> 不要 <input checked="" type="radio"/>			
⑥ 共催など	なし			
⑦ 会場	教育学部本館1階106室			⑧ サテライト配信
	可 <input type="radio"/> 否 <input checked="" type="radio"/>			
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	生徒を対象とする講座、学問の普及・啓発を趣旨とする講座のため。
	0円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	<p>紐を適当に絡ませ、その両端を繋いだものを結び目と呼びます。絡まった電源コードの、両端をくっつけたものを想像すると理解しやすいでしょうか。電源コードやイヤホンが絡まり、なかなかほどけない経験をした方は多いと思います。このような日常生活に現れる絡まり方を研究する数学分野に、結び目理論があります。</p> <p>一般に上のようにして結び目を作ったとき、綺麗な円の結び目に戻るでしょうか。もちろん戻らないものが沢山あるわけです。しかし、それをどう証明しましょう。これはとても難しい問題です。一時間紐を動かしても戻らなかった。証明終わり。ではまずいですが、だって二時間かければ戻るかもしれない。これを解決してくれるアイデアに「不変量」があります。本講義では不変量を用いて、多くの結び目が円に戻らないことを証明します。</p>			
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)			
	○琉球大学教育学部准教授 三枝崎剛			
⑫ プログラム				
実施日	時間	講座内容		担当講師
7月末から9月下旬	10:00-16:00	結び目理論入門		三枝崎 剛
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	消耗品(ロープ、安全ピン、文具など):20,000円			
	合 計			20,000
⑭ 備 考	筆記用具持参。			

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 理学部

① 講座名	～物理の魅力を教えます2019～						
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	小中高校生・一般	④ 募集人数	50人	⑤ 修了証の発行	要・ <input checked="" type="radio"/> 不要
⑥ 共催など	なし						
⑦ 会場	琉球大学理学複合棟					⑧ サテライト配信	可 <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. <input checked="" type="radio"/> 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	0円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	<p>琉球大学理学部物理系では毎年夏に、中高生以上を中心とした理科好きの一般の皆様、様々な物理の魅力を伝える講座を開いています。講座の前半は最新の物理関係のトピックスや琉球大学で研究されている最先端の物理についての講演を行います。後半は物理の魅力の詰まった各種実験実演など自由に参加できるプログラムになっています(参加申込不要、途中入退場自由です)。</p> <p>生き生きとした最先端物理学の世界に触れる機会を提供したいと思いますので、物理が好きな人も得意でない人も、是非不思議体験をしにきてください。</p>						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	前野昌弘(理学部物質地球科学科准教授)○			瓜生康史(理学部物質地球科学科教授)			
	眞榮平孝裕(理学部物質地球科学科教授)			與儀護(理学部物質地球科学科准教授)			
	辺土正人(理学部物質地球科学科教授)			田原周太(理学部物質地球科学科准教授)			
	阿曾尚文(理学部物質地球科学科教授)			小林理気(理学部物質地球科学科助教)			
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
8月4日	13:00～17:00	講演&実験体験					全員
⑬ 必要経費希望額の積算内訳 ポスター印刷(300枚:8千円) パンフレット印刷(3000枚:1万円) 以上の発送費(県内の中学・高校)2万円 受講者に体験してもらった実験の消耗品(10万円) 学生アルバイト20名(単価760円×3時間×20=45600円)							
合 計			183,600			円	
⑭ 備 考	講座内容などは、ホームページ "http://www.phys.u-ryukyu.ac.jp/koza2019/" にて情報発信します。 事前申込不要で当日参加可能です。途中入場・途中退場も可能です。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 理学部

① 講座名	琉大生による理科実験教室						
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	小中高校生・一般	④ 募集人数	100人	⑤ 修了証の発行	要 ・ <input checked="" type="radio"/> 不要
⑥ 共催など	なし						
⑦ 会場	琉球大学理系複合棟					⑧ サテライト配信	可 <input type="radio"/> 否 <input checked="" type="radio"/>
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. <input checked="" type="radio"/> 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	0円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・内容等	<p>琉球大学理学部物質地球科学科の教員を志望している大学4年生が中心となって、小中高校生向けの実験教室を開催します。物質地球科学科は物理と地学を勉強する学科です。この教室では物理・地学に関する楽しい実験などを見たり体験したりできるほか、工作なども楽しめるようになっています。</p> <p>小中高校生向けですが、理科に興味のある全ての方が参加可能です。</p> <p>理科の不思議を見て聞いて、触りにそして作りに来てください。</p> <p>この日は部分日食が起こる日でもあるので、好天ならば野外での日食観察も行います。</p>						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	前野昌弘(理学部物質地球科学科准教授)○						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
12月26日	13:00～17:00	実験体験&工作&日食観察					前野昌弘
⑬ 必要経費希望額の積算内訳	ポスター印刷(300枚8000円)。 パンフレット印刷(3000部8000円)。 県内小学校に発送(2万円)その他はイベントなどで配布。 受講者に体験してもらった実験・工作の消耗品(2万円)						
	合 計					56,000	円
⑭ 備 考	講座内容などは、ホームページ “ http://www.phys.u-ryukyu.ac.jp/jikken2019/ ” にて情報発信します。 事前申込不要で当日参加可能です。途中入場・途中退場も可能です。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名

理学部

① 講座名	理系女子・理系男子の世界—進路選択とキャリア形成、生活と文化—						
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	一般(高校・大学生、指導者・保護者も可)	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要 ・ 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学理系複合棟207講義室(仮)					⑧ サテライト配信	可 ・ <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	オ)その他(備考に理由を記述)			
	0 円						
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	自然科学分野の研究や教育を職業とする理系女子・理系男子の実際の姿については、世間一般には案外、あまり知られていないのかもしれませんが。本講座においては、理系の進路選択やキャリア形成の道筋に関する内容と共に、その職業生活、日常、文化などについてもお話します。また、若い人たちに対する理系進路選択支援やキャリア形成支援の有り様、特に女子学生・女子生徒に対する支援の現状、更には女性研究者や技術者、教育者の様々な状況も含めて紹介します。自然科学分野の実態を知ること、興味を幅を広げ、人生の選択肢や喜びを増やしてもらえることを期待しており、受講者の皆さんと情報や意見の交換も行いながら話を進めていきたいと思っておりますので、進路選択を控えた学生や生徒さん、および、その指導者や保護者の方々も歓迎します。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 漢那 洋子(理学部 海洋自然科学科 准教授)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
検討中	13:30~16:30	自然科学の世界および理系の進路選択とキャリア形成およびその生活や文化に関連した講義					漢那 洋子
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	消耗品(印刷用紙代等):2,000円						
	合 計			2,000		円	
⑭ 備 考	高校生も対象としていることと、配布資料の用紙代以上の特別な材料費等が必要な講座ではないので無料としたいと考えています。 実施日については、検討中です。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名

理学部

① 講座名	身近な化学 Part①									
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般	・ 専門	③ 受講対象者	高校生以下	④ 募集人数	30 人	⑤ 修了証の発行	要	・ <input checked="" type="radio"/> 不要	
⑥ 共催など	一般社団法人教育振興会									
⑦ 会場	生涯学習教育センター301講義室							⑧ サテライト配信	可	・ <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	ウ)児童・生徒を対象とする講座						
	0 円	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)								
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	現代では多くの科学技術を用いた製品が日常にあふれている。しかしながら現代はその構造が複雑化・高度化しているため、学校で習ったことと関連性を見出すことができない。さらに近年、初等教育・中等教育において実験授業が減少しつつあるため、子供たちから一層理科の有益性と興味を感じづらくなりつつある。本授業は、化学を中心として、身の回りにある自然・製品のしくみの中にどのように化学が使われているかを、年2回テーマを変えて高校生以下の学生に向けて、現役大学生が中心となって実験講座を行う。									
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)									
	○ 中川 鉄水(理学部 海洋自然科学科 助教)									
	福本 晃造(教育学部 理科教育専修 准教授)									
⑫ プログラム										
実施日	時間	講座内容						担当講師		
未定(6月予定)	13:00-15:00	内容未定						中川・福本		
⑬ 必要経費希望額の積算内訳										
学生アルバイト:760円×10時間(準備・片付け含む)×5人=38,000円 実験器具10,000円										
合 計					48,000			円		
⑭ 備 考										

平成31年度公開講座実施計画書

部局名

理学部

① 講座名	身近な化学 Part②						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	高校生以下	④ 募集人数	30人	⑤ 修了証の発行	要・ <input checked="" type="radio"/> 不要
⑥ 共催など	一般社団法人教育振興会						
⑦ 会場	生涯学習教育センター301講義室					⑧ サテライト配信	可・ <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	ウ)児童・生徒を対象とする講座			
	0円		理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	現代では多くの科学技術を用いた製品が日常にあふれている。しかしながら現代はその構造が複雑化・高度化しているため、学校で習ったことと関連性を見出すことができない。さらに近年、初等教育・中等教育において実験授業が減少しつつあるため、子供たちから一層理科の有益性と興味を感じづらくなりつつある。本授業は、化学を中心として、身の回りにある自然・製品のしくみの中にどのように化学が使われているかを、年2回テーマを変えて高校生以下の学生に向けて、主に現役大学生が中心となって実験講座を行う。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 中川 鉄水(理学部 海洋自然科学科 助教)						
	福本 晃造(教育学部 理科教育専修 准教授)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
未定(2月予定)	13:00-15:00	内容未定				中川・福本	
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	学生アルバイト:760円×10時間(準備・片付け含む)×5人=38,000円 実験器具10,000円						
	合 計				48,000		円
⑭ 備 考							

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 農学部

① 講座名	働き盛りのための栄養講座・クッキング part1～part3 ～ 仕事の活力を増進させるニュートレ ～						
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	30歳以上の男女	④ 募集人数	8～10人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要
⑥ 共催など	特になし						
⑦ 会場	琉球大学教育学部本館309教室、306教室(給食実習室)					⑧ サテライト配信	可 <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)				
	2,670円	全学免除(無料)を希 望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希 望する場合、理由を選 択)				
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	<p>現代社会では経済状況、成果主義、顧客ニーズの多様化・複雑化などを背景に長時間労働や作業の迅速化が求められる傾向にあります。働き世代の“ゆとり”が失われてきているようにも思えるこのような状況下で、気持ちや身体に疲れが溜まりがちになっていませんか？そこで、働き盛りの栄養講座・クッキングとして、私たち栄養のスペシャリストが食生活の面から日々の「元気」をサポートするポイントを説明し、さらに、料理が苦手な方でも作れる簡単・栄養満点にできるクッキングをお教えます。明日からの仕事の活力を増進させる方法を一緒に学び、柔軟で健康な身体とこころを手に入れましょう！</p> <p>*本講座の最少開講人数は3名以上とさせていただきます。</p>						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 森山 克子(農学部亜熱帯生物資源科学科健康栄養科学コース 准教授)						
	大西 竜子(農学部亜熱帯生物資源科学科健康栄養科学コース 准教授)						
	宮城 一菜(農学部亜熱帯生物資源科学科健康栄養科学コース 准教授)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
11月9日(土)	9:00～10:00	part1 健康増進のための栄養講座					大西竜子
	10:00～11:00	part2 健康増進のための栄養指導					宮城一菜
	11:10～14:00	part3 講義・実習: 健康増進のためのしっかり朝ごはん					森山克子
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	・当日の調理補助の学生雇いあげ 5時間×760円×2人=7,600円 ・その他消耗品(印刷用紙代等):5,000円						
						5,000	円
⑭ 備 考	<p>*「働き盛りのための栄養講座・クッキングpart1-3」の全3回を通して受講できる方。 *クッキングの材料費として、別途700円を当日徴収します。 *万一の事故に備えて、各自で任意のレクリエーション保険等に加入して下さい(必須)。 *エプロン、三角巾(バンダナでも可)、室内用スリッパのご準備をお願いします。</p>						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	ロボットをつくろう						
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	中学生	④ 募集人数	10 人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要 ・ 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	工学部3号館305コンピュータ実習室					⑧ サテライト配信	可 <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	0円		理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	本講座では、モーターで動くロボットを製作し、ゲームをします。基本プログラムの変更により、ロボットの動き方を変えることができます。どのような「ロボット」を作るかはあなた次第です！夏休みの自由研究としていかがでしょうか。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 比嘉 広樹(工学部工学科電気システム工学コース・教授)						
⑫ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
8月4日(日)	9:00~16:30	ロボット製作とその実験					比嘉
⑬ 必要経費希望額 の積算内訳	学生アルバイト(5名):単価760円/時間×13時間×5名分=49,400円 電子回路部品:5,500円×10名分=55,000円						
	合 計					104,400	円
⑭ 備 考	当日、材料費として1,000円を徴収いたします。なお、 万一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に加入してください(必須) 。活動記録のため、本講座実施中に写真撮影を行います。撮影した写真は電気電子工学科活動報告書等に掲載される場合があります。あらかじめご了承の上、お申し込みください。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名

工学部

① 講座名	電子工作教室(ミニ四駆とLEDを題材に)								
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般	・ 専門	③ 受講対象者	小学5・6年生	④ 募集人数	12 人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要	<input type="radio"/> 不要
⑥ 共催など									
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館2階226教室(電気基礎実験室)・同館2階217-2教室(ものラボ)						⑧ サテライト配信	<input checked="" type="radio"/> 可	<input type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座					
	0 円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)						
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	本講座は、子供たち(主に小学生高学年)を対象に、模型工作および電子工作を通して、ものづくりの楽しさを体感していただくことを目的としています。特に、半田ごて等の電子工作用道具を実際に利用していただきながら、その使用法と、簡単な電子回路について学ぶことができます。また、工作後、実際にミニ四駆サーキットにて試走させることができます。								
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)								
	○金城 光永 (工学部電気電子工学科准教授)								
	勢理客 勝則 (工学部技術部技術職員)								
	山下 大輔 (工学部技術部技術職員)								
	渡慶次 高也 (工学部技術部技術職員)								
大城 諒士 (工学部技術部技術職員)									
⑫ プログラム									
実施日	時間	講座内容						担当講師	
7月20日(土)	17:00~19:00	事前準備						上記5名全員	
7月21日(日)	09:30~11:00	直前準備						〃	
〃	12:00~	受付開始						〃	
〃	12:30~17:00	LED電子工作・ミニ四駆工作(電気基礎実験室), 試走(ものラボ)						〃	
〃	~17:30	片付け						〃	
⑬ 必要経費希望額 の積算内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・学生アルバイト(12名): 時給760円×(7(当日)+2(事前準備))時間×12名分=82,080円 ・アルバイト事前トレーニング用基板材料・加工費: 1,300円×6セット=7,800円 ・受講生用基板加工費: 300円×12セット=3,600円(材料費1,000円は受講生より徴収のため, 1セット300円) ・その他消耗品費(受講生への配布資料(工作完了証)用紙及びラミネート加工費): 1,000円 								
	合 計						94,480	円	
⑭ 備 考	<p>当日に材料費として1,000円を徴収いたします(製作した電子工作部品とミニ四駆はお持ち帰り下さい)。作業に必要な工具はこちらで用意いたしますので、当日ご持参いただく道具等はありません。なお、万一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に参加して下さい(必須)。また、可能な限り保護者同伴をお願いいたします。</p> <p>※内容の詳細等に関するご質問は金城光永 (E-Mail: mitsul8@tec.u-ryukyu.ac.jp) までお問い合わせ下さい。</p>								

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	夏休み工作教室 - ホバークラフト									
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般	<input type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	小学校1-3年生	④ 募集人数	10 人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要	<input type="radio"/> 不要	
⑥ 共催など										
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)							⑧ サテライト配信	<input type="radio"/> 可	<input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座						
	無料									
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨:ものづくりの楽しさや、不思議さ等の体験を通して、子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしています。 内容:モーターを用いてホバークラフトを作ります。「気圧」って何だろう?を遊びながら勉強しましょう。									
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)									
	<input type="radio"/> 勢理客 勝則(工学部技術部 技術職員)									
	<input type="radio"/> 玉那覇 厚雄(工学部技術部 技術専門職員)									
	<input type="radio"/> 大城 諒士(工学部技術部 技術職員)									
	<input type="radio"/> 廣瀬 孝三郎(工学部技術部 技術職員)									
	<input type="radio"/> 佐久本 華乃(工学部技術部 技術職員)									
<input type="radio"/> 新任職員(工学部技術部 技術職員)										
⑫ プログラム										
実施日	時間	講座内容						担当講師		
7月27日(土)	9:00~11:00	ホバークラフトの作製						勢理客 勝則 玉那覇 厚雄 大城 諒士 廣瀬 孝三郎 佐久本 華乃 新任職員		
⑬ 必要経費希望額 の積算内訳	消耗品費(指導するために必要な資材):10,000円									
	合 計						10,000	円		
⑭ 備 考	当日、材料費として500円をご負担いただきます。 なお、万が一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に加入してください(必須)。・・・調整中 熱中症対策として、各自飲み物をお持ちください。 講座中に写真撮影を行い、工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上、お申し込みください。また、当日は必ず保護者同伴をお願いします。									

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	夏休み工作教室 － 折り紙建築						
② 講座の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	小学校 5、6年生	④ 募集人数	8 人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="checkbox"/> 要 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	工学部 2号館 (2階) 技術部室					⑧ サテライト配信	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
	無 料			ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨:もの作りの楽しさや、不思議さ等の体験を通して、子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしている。 内容:ケント紙を使って、飛び出す絵本の様な「折り紙建築」(世界遺産を中心に)を製作する。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○淵脇秀晃(琉球大学工学部技術部 技術専門職員)						
	廣瀬孝三郎(琉球大学工学部技術部 技術職員)						
	東舟道裕亮(琉球大学工学部技術部 技術職員)						
新任職員(琉球大学工学部技術部 技術職員)							
⑫ プ ロ グ ラ ム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
7月27日(土)	13:00~17:00	ケント紙を使った「折り紙建築」				淵脇 秀晃	
						廣瀬 孝三郎	
						東舟道 裕亮	
						新任職員	
⑬ 必要経費希望額 の積算内訳	北雪ケント紙 1冊(100枚) B4(180k)=2,160円						
	合 計				2,160	円	
⑭ 備 考	<p>当日、材料費として300円をご負担いただきます。 なお、万が一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に加入してください(必須)。・・・調整中 熱中症対策として、各自飲み物をお持ちください。 講座中に写真撮影を行い、工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上、 お申し込みください。また、当日は必ず保護者同伴をお願いします。</p>						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	夏休み工作教室 － 固形燃料で走る船					
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般	<input type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	小学生5,6年	④ 募集人数 14 人	⑤ 修了証の発行 <input checked="" type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要
⑥ 共催など						
⑦ 会場	工学部1号館1-122室(学生学習室)				⑧ サテライト配信 <input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否	
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)			
	無料 円			ウ) 児童・生徒を対象とする講座		
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨:もの作りの楽しさや、不思議さ等の体験を通して、子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしている。 内容:熱機関を利用したポンポン船を製作しながら、動作原理や金属加工などを学びます。					
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)					
	○宮城 紀良 (工学部技術部 技術専門職員)		大城 成栄 (工学部技術部 技術専門職員)			
	與那覇 敏明 (工学部技術部 技術専門職員)		照屋 泰彦 (工学部技術部 技術専門職員)			
	名嘉 海人 (工学部技術部 技術職員)		山里 將史 (工学部技術部 技術職員)			
	野原 幸則 (工学部技術部 再雇用技術職員)					
⑫ プログラム						
実施日	時間	講座内容			担当講師	
7月27日(土)	13:00~17:00	固形燃料で走る船(ポンポン船)			全講師	
⑬ 必要経費希望額の積算内訳						
銅パイプ、発泡スチロール、固形燃料等 13,000円						
合 計				1300	円	
⑭ 備 考	当日、材料費200円を徴収します。なお、万が一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に加入して下さい(調整中)船を走らせる時、足元が滑りやすくなりますのでズボンに靴を履いて下さい。また、熱中症予防の為、各自飲み物を準備して下さい。講座中に写真撮影を行い、工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上お申込み下さい。					

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	夏休み工作教室 — 電子回路の製作						
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	小学生4～6年	④ 募集人数	12人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要 ・ 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)					⑧ サテライト配信	可 ・ <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	0円						
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨:もの作りの楽しさや、不思議さ等の体験を通して、子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしています。 内容:ブレッドボードという配線器具を使って、電子回路の実験装置を作ります。 装置はマイクロコンピュータを使用したラジオまたはテレビゲーム等を予定しています。詳しい内容は技術部ホームページの夏休み工作教室(http://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/Engineering-Division/)をご覧ください。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○山下 大輔(工学部技術部・技術職員)						
	我如古 将斗(工学部技術部・技術職員)						
	佐久本 華乃(工学部技術部・技術職員)						
	新任職員(工学部技術部・技術職員) 予定						
	渡嘉敷 直盛(再雇用職員)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
7/28(土)	13:00～17:00	電子回路の製作				上記講師5名	
⑬ 必要経費希望額の積算内訳							
電子部品 10,000円							
合 計				10,000		円	
⑭ 備 考	当日、材料費として300円をご負担いただきます。 なお、万が一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に加入してください(必須)。・・・調整中 講座中に写真撮影を行い、工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上、お申し込みください。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	夏休み工作教室－電気工事を体験しよう(小学生対象コース)						
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	小学生4-6年	④ 募集人数	10 人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要 ・ 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館118室(電力実験室)					⑧ サテライト配信	可 <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
	無料			ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨:ものづくりの楽しさや, 不思議さ等の体験を通して, 子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしています。 内容: 電気工事用工具を使用して, 7色に光るLEDを点灯させる回路を作ります。電気工事の体験を通して電気の流れる仕組みを学びます。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○渡慶次 高也 (工学部技術部 技術職員)						
	勢理客 勝則 (工学部技術部 技術職員)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
7月27日(土)	13:00~17:00	LEDを光らせる回路を作製					渡慶次高也 勢理客勝則
⑬ 必要経費希望額 の積算内訳	消耗品費(指導するために必要な資材):10,000円						
	合 計					10,000	円
⑭ 備 考	当日, 材料費として500円をご負担いただきます。 なお, 万が一の事故に備えて, 各自で任意の傷害保険等に加入してください(必須)。・・・調整中 講座中に写真撮影を行い, 工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上, お申し込みください。また, 当日は必ず保護者同伴でお願いします。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	夏休み工作教室－電気工事を体験しよう(中学生対象コース)						
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	中学生	④ 募集人数	10 人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要 ・ 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館118室(電力実験室)					⑧ サテライト配信	可 <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	無料						
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨:ものづくりの楽しさや, 不思議さ等の体験を通して, 子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしています。 内容: 電気工事用工具を使用して, 7色に光るLEDを点灯させる回路を作ります。電気工事の体験を通して電気の流れる仕組みを学びます。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○渡慶次 高也 (工学部技術部 技術職員)						
	山下 大輔 (工学部技術部 技術職員)						
	廣瀬 孝三郎 (工学部技術部 技術職員)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
8月3日(土)	13:00~17:00	LEDを光らせる回路を作製					渡慶次高也 山下 大輔 廣瀬 孝三郎
⑬ 必要経費希望額 の積算内訳	消耗品費(指導するために必要な資材):15,000円						
	合 計					15,000	円
⑭ 備 考	当日, 材料費として1000円をご負担いただきます。 なお, 万が一の事故に備えて, 各自で任意の傷害保険等に加入してください(必須)。・・・調整中 講座中に写真撮影を行い, 工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上, お申し込みください。また, 当日は保護者同伴可能です。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	夏休み工作教室 - デスクトップPC組み立て・LANケーブル作製体験 -						
② 講座の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	中学生	④ 募集人数	8人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="checkbox"/> 要 不要
⑥ 共催など	なし						
⑦ 会場	工学部2号館 217-2号室「ものラボ」					⑧ サテライト配信	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
	0円			ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨:すでに普及しているPCについて、パーツからの組み立て体験・周辺機器(LANケーブル)の製作・それらの説明を聞いてもらうことで、より身近な技術に興味を持ってもらうことを目的としています。 内容:デスクトップPCのパーツを自分で組み上げる「自作PC」の体験と、フリーOSのインストール体験、LANケーブルの作成体験をしてもらいます。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○翁長 竜盛 (琉球大学工学部 技術部)						
	名嘉 秀和 (琉球大学工学部 技術部)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
7/27(土)	13:00 ~ 17:00	自作PCの組み立て・OSのインストール・LANケーブル自作作業				翁長	
⑬ 必要経費希望額の積算内訳							
消耗品(PC自作に必要なグリース等) 6,000円							
合 計					6,000	円	
⑭ 備 考	万が一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険に加入してください。(必須)。・・・調整中 熱中症対策として、各自飲み物をお持ちください。 講座中に写真撮影を行い、工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。 予めご了承の上、お申し込みください。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	夏休み工作教室－ミラクル万華鏡								
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般	<input type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	小学校1-3年生	④ 募集人数	10 人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要	<input type="radio"/> 不要
⑥ 共催など									
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)						⑧ サテライト配信	<input type="radio"/> 可	<input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座					
	2. 表によらない (金額及び理由を記入)		理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)						
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨:ものづくりの楽しさや、不思議さ等の体験を通して、子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしています。 内容:偏光板を用いて万華鏡を作ります。「ひかり(光)はなみ(波)である」ことを遊びながら勉強しましょう。								
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)								
	<input type="radio"/> 山下 大輔(工学部技術部 技術職員)								
	<input type="radio"/> 渡慶次 高也(工学部技術部 技術職員)								
	<input type="radio"/> 大城 諒士(工学部技術部 技術職員)								
新任職員(工学部技術部 技術職員)予定									
⑫ プログラム									
実施日	時間	講座内容						担当講師	
8月3日(土)	9:00~11:00	ミラクル万華鏡の作製						山下 大輔 渡慶次 高也 大城 諒士 新任職員	
⑬ 必要経費希望額 の積算内訳	消耗品費(指導するために必要な資材):5,000円								
		合 計				5,000		円	
⑭ 備 考	<p>当日、材料費として100円をご負担いただきます。</p> <p>なお、万が一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に加入してください(必須)。・・・調整中</p> <p>熱中症対策として、各自飲み物をお持ちください。</p> <p>講座中に写真撮影を行い、工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上、お申し込みください。また、当日は必ず保護者同伴でお願いします。</p>								

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	夏休み工作教室 ― 合金を溶かして風鈴づくり						
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	小学校5・6年生	④ 募集人数	8 人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要 ・ 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部 附属工作工場 鋳物室					⑧ サテライト配信	可 <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
	無料 円			ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨:もの作りの楽しさや、不思議さ等の体験を通して、子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしている。 内容:鋳物砂で作った型の中に、溶けた合金(比較的低融点の金属)を流し込み風鈴を作る。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○ 大城 成栄 (工学部技術部 技術専門職員)			宮城 紀良 (工学部技術部 技術専門職員)			
	照屋 泰彦 (工学部技術部 技術専門職員)			與那覇 敏明 (工学部技術部 技術専門職員)			
	山里 将史 (工学部技術部 技術職員)			我如古 将斗 (工学部技術部 技術職員)			
	新任職員 (工学部技術部 技術職員)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
8月3日(土)	13:00~17:00	合金を溶かして風鈴づくり					大城成栄 宮城紀良 照屋泰彦 與那覇敏明 山里将史 我如古将斗 新任職員
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	消耗品費(指導するために必要な資材) : 15,000円						
	合 計					15,000	円
⑭ 備 考	当日、材料費として200円をご負担いただきます。 なお、万が一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に加入してください(必須)。・・・調整中 熱中症対策として、各自飲み物をお持ちください。 講座中に写真撮影を行い、工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上、お申し込みください。また、当日は保護者の皆様は作業場外の窓からの見学となります。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	夏休み工作教室 - まわりつづけるコマ								
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般	<input type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	小学校4-6年生	④ 募集人数	10 人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要	<input type="radio"/> 不要
⑥ 共催など									
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)						⑧ サテライト配信	<input type="radio"/> 可	<input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座					
	無料		理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)						
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨:ものづくりの楽しさや、不思議さ等の体験を通して、子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしている。 内容:エナメル線を巻いた電磁石と磁石のコマを作製します。磁石で「入」、「切」できるスイッチを使うことで電気が発生し、その電気でもわりつづけるコマを作りましょう。								
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)								
	○ 勢理客 勝則(工学部技術部 技術職員)								
	玉那覇 厚雄(工学部技術部 技術専門職員)								
	淵脇 秀晃(工学部技術部 技術専門職員)								
	佐久本 華乃(工学部技術部 技術職員)								
	長田 克之(工学部技術部 再雇用職員)								
⑫ プログラム									
実施日	時間	講座内容						担当講師	
8月3日(土)	13:00~17:00	電磁石, 磁石コマの作製						勢理客 勝則 玉那覇 厚雄 淵脇 秀晃 佐久本 華乃 新任職員	
⑬ 必要経費希望額 の積算内訳	消耗品費(指導するために必要な資材):10,000円								
	合 計						10,000	円	
⑭ 備 考	<p>当日、材料費として500円をご負担いただきます。</p> <p>なお、万が一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に加入してください(必須)。・・・調整中</p> <p>熱中症対策として、各自飲み物をお持ちください。</p> <p>講座中に写真撮影を行い、工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上、お申し込みください。また、当日は必ず保護者同伴をお願いします。</p>								

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 工学部

① 講座名	ものラボでものづくり！クリスマスイルミネーション工作教室						
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	小学生4～6年	④ 募集人数	8 人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要 ・ 不要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館217-2室(ものラボ)					⑧ サテライト配信	可 <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座			
	無料						
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	趣旨:ものづくりの楽しさや、不思議さ等の体験を通して、子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしている。 内容:モディICやLEDを使用した音楽が流れてLEDが光るクリスマスツリーを、工学部「ものラボ」室にある工作機械を使って製作する。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○渡慶次 高也 (工学部技術部 技術職員)						
	山下 大輔 (工学部技術部 技術職員)						
	我如古 将斗 (工学部技術部 技術職員)						
	廣瀬 孝三郎 (工学部技術部 技術職員)						
	佐久本 華乃 (工学部技術部 技術職員)						
東舟道 裕亮 (工学部技術部 技術職員)							
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
12月14日(土)	13:00～17:00	工学部「ものラボ」の工作機械(3Dプリンタ、レーザーカッター、CNCフライス盤)を使って音が流れ、LEDが点滅するクリスマスツリーの作製				渡慶次高也 山下 大輔 我如古 将斗 廣瀬 孝三郎 佐久本 華乃 東舟道 裕亮	
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	消耗品費(指導するために必要な資材):50,000円						
	合 計			50,000			円
⑭ 備 考	当日、材料費として500円をご負担いただきます。 なお、万が一の事故に備えて、各自で任意の傷害保険等に加入してください(必須)。・・・調整中 講座中に写真撮影を行い、工学部技術部の活動報告の一環としてweb等に公開する場合があります。予めご了承の上、お申し込みください。また、当日は必ず保護者同伴をお願いします。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名

① 講座名	シュタイナー教育実践入門講座 I						
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	市民一般・教育関係者	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	要 <input checked="" type="radio"/> 不要
⑥ 共催など	沖縄シュタイナー教育実践研究会（講師派遣）						
⑦ 会場	文系講義棟 106					⑧ サテライト配信	可 <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)				
	3,180円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	<p>教育・子育てに新たな視点をもたらすシュタイナー教育。その背景には、深い人間洞察があります。学校や家庭で実践してみたいと思う方々に、分かりやすい理論と実践の方法を提供し、子ども達の健やかな成長を応援する講座です。</p> <p>講座 I では、まず基本的な子ども理解(0歳～21歳までの発達段階)とそれぞれの成長で起こる、子育ての難しさをどう乗り越えていくかを学び、子ども達が生き生きと自分らしさを伸ばしていける教育・子育てを考えます。それを基に、小学校で勉強嫌いになるきっかけになりやすい漢字学習の、楽しい学び方を提案します。発達に沿って教え、漢字が大好きになる具体的な実践方法を、ワークショップ方式で分かりやすく楽しく学べます。家庭はもちろん、学校現場でも既存の学習方法とはまったく異なった視点から、漢字学習を展開する実践ができます。</p>						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○寺石 悦章 (琉球大学 人文社会学部教授)						
	上原 玲子 (沖縄シュタイナー教育実践研究会)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
6月15日(土)	10:00～12:00	子ども理解(発達段階と気質)					寺石・上原
8月19日(月)	10:00～12:00	漢字の学びの要素(基礎編)					寺石・上原
8月20日(火)	10:00～12:00	漢字の学びの要素(応用編)					寺石・上原
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	画用紙:B4サイズ1枚…1,000 名札ストラップ:108×2=216 名札1枚入り:108×2=216 名札10枚入り:108×2=216 ゼブラ 油性ペンハイマッキー(黒 5本入):473×2=946						
	合 計					2,594	
⑭ 備 考							

平成31年度公開講座実施計画書

部局名

① 講座名	シュタイナー教育実践入門講座 II						
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	市民一般・教育関係者	④ 募集人数	20 人	⑤ 修了証の発行	要 <input checked="" type="radio"/> 不要
⑥ 共催など	沖縄シュタイナー教育実践研究会（講師派遣）						
⑦ 会場	文系講義棟 106					⑧ サテライト配信	可 <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)				
	3,180円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	<p>教育・子育てに新たな視点をもたらすシュタイナー教育。その背景には、深い人間洞察があります。学校や家庭で実践してみたいと思う方々に、分かりやすい理論と実践の方法を提供し、子ども達の健やかな成長を応援する講座です。</p> <p>講座IIでは、まずシュタイナー教育で大切にされている思考力とは何かを考えます。IT社会、AIの進出する未来の世界は、人類の経験したことのない新しい社会です。しかし、その中で一層大切になるのが、より人間らしい力ではないでしょうか。子ども達に求められるクリエイティブな創造の力、発想力、思考力はどのように育てたらよいのでしょうか。具体的な実践方法(語り、フォルメン線描、しおり作り)をワークショップ形式で、楽しく学べる講座です。</p> <p>講座Iを受講していない方にも受講していただけます。</p>						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○寺石 悦章 (琉球大学 人文社会学部教授)						
	上原 玲子 (沖縄シュタイナー教育実践研究会)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
10月19日(土)	10:00~12:00	思考力を育てる(イメージの力)				寺石・上原	
11月16日(土)	10:00~12:00	子どもへ語る(読み聞かせをこえて・・・)				寺石・上原	
1月25日(土)	10:00~12:00	フォルメン線描・糸掛けグラフィックしおり作り				寺石・上原	
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	画用紙:B4サイズ1枚…1,000 名札ストラップ:108×2=216 名札1枚入り:108×2=216 名札10枚入り:108×2=216 ステッドラー みつろうクレヨン太軸 8色 :972						
	合 計					2,620	円
⑭ 備 考	1月25日は、 材料費の負担があります。(1人あたり200円程度)						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 医学部

① 講座名	世界遺産登録へ向けた沖縄伝統空手の健康技・三戦と尿失禁・頻尿に役立つ骨盤底筋訓練						
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	一般市民	④ 募集人数	70人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要 ・ 不要
⑥ 共催など	NPO法人日本コンチネンズ協会沖縄県支部						
⑦ 会場	三原区公民館					⑧ サテライト配信	可 ・ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)			
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	沖縄伝統空手道の世界遺産登録にむけて、空手の発祥の地である沖縄県から空手の重要性を発信して地域社会へ貢献したいと願う空手家とコンチネンズリーダー看護師との連携による健康技をご紹介します。今回は、上地流・剛柔流・松林流の空手家から主に三戦(サンチン)の理論と演武について学びます。この三戦は、空手の基本技であり、その重要性を「なるほど!」と実感できます。さらに泌尿器科分野で健康を守るコンチネンズリーダー看護師により泌尿器科受診への勧め、排尿自立にむけた対応と骨盤底筋訓練の理論と実演とおして尿失禁と頻尿の対策について学びます。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名) 新垣 薫(社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院 看護師・排尿機能検査士・リンパ浮腫複合的治療技術者・コンチネンズリーダー) 當山 悦子(琉球大学医学部附属病院 副看護師長・コンチネンズリーダー) 東江 三和(沖縄上地流空手道保存会 琉球古武道保存会 小禄後原修武館 館長) 田島 一雄(沖縄空手道松林流 喜舎場塾 三原道場 道場主) 上原 米和(一般社団法人 国際沖縄剛柔流空手道連盟総本部 東恩納空手道場 師範) 蔵元 雅一(一般社団法人 国際沖縄剛柔流空手道連盟総本部 東恩納空手道場 師範) 大城 善栄(剛柔流国際空手古武道連盟ヨーロッパ本部長 フランス空手道連盟剛柔流責任者) 砂川 恵伸(元琉球大学学長) ○大湾 知子(琉球大学医学部保健学科成人・がん看護学 准教授・コンチネンズリーダー)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容	担当講師				
2019年4月28日(日)	14:00-14:15	排尿のことで悩んでいませんか? 泌尿器科へ受診しましょう! ～コンチネンズリーダー専門ナースより～	新垣 薫				
	14:15-14:30	尿失禁や頻尿に対応する排尿自立	當山 悦子				
	14:30-14:55	健康に良い! 上地流空手道の鍛錬型三戦	東江 三和				
	14:55-15:20	健康のための身体療法(ゆっくりずむ空手)	田島 一雄				
	15:20-15:45	心身に役立つ沖縄伝統空手剛柔流の基本型三戦	上原 米和 蔵元 雅一				
	15:55-16:20	尿失禁と頻尿の改善にも役立てられる空手の三戦	大城 善栄				
	16:20-16:40	空手と私	砂川 恵伸				
	16:40-17:00	尿失禁と頻尿に効果のある骨盤底筋訓練やってみましょう!	大湾 知子				
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	三原区公民館1階会場使用料:2時間1,000円×6時間=3,000円 クーラー使用料1時間100円×6時間=600円 講師謝金:(県内)@6,230円×3時間×7名=130,830円 (県外)@6,600円×3時間×1名=19,800円						
	合 計		154,230			円	
⑭ 備 考							

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 医学部

① 講座名	コンチネンス月間・コンチネンスデイ！ めざせ！気持ちよく排泄できるコンチネンス						
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	一般市民	④ 募集人数	70人	⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要 ・ 不要
⑥ 共催など	NPO法人日本コンチネンス協会沖縄県支部						
⑦ 会場	放送大学沖縄学習センター5階 大講義室					⑧ サテライト配信	可 ・ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)				
	0円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	すべての人が気持ちの良い排泄ができるように、排泄障がい予防や治療、支援、開発、教育などを行い予防に努めています。コンチネンスメイト・コンチネンスリーダー・コンチネンスアドバイザーである専門の看護師から食と排泄の重要性について学びます。コンチネンスとは、排尿や排便が正常の状態や、障がいがあっても排泄がコントロールできている状態を表す言葉です。この講座を受けることにより、尿失禁や便失禁がなく気持ちよく排泄ができていく状態の正しい知識の習得、専門病院への受診、的確な用具を選択するチャンスに恵まれます。さらに排尿自立にむけた対応と骨盤底筋訓練の理論と実演を体感することによってコンチネンスケアへの理解が深められます。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	宮城 久美子(社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院 排泄ケアチーム看護師・コンチネンスメイト)						
	渡慶次 道太(琉球大学医学部附属病院 看護師・コンチネンスリーダー)						
	○大湾 知子(琉球大学医学部保健学科成人・がん看護学 准教授・コンチネンスリーダー)						
	赤嶺ゆかり(アドベンチストメディカルセンター病院秘書・コンチネンスリーダー)						
	西村 かおる(日本コンチネンス協会会長・コンチネンスアドバイザー)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
2019年11月2日(土)	14:00-14:15	現場で活かすコンチネンス ～コンチネンスメイト専門ナースより～				宮城 久美子	
	14:15-14:30	生活に役立つ排尿自立 ～コンチネンスリーダー専門ナースより～				渡慶次 道太	
	14:30-14:45	尿失禁と頻尿に効果のある骨盤底筋訓練やってみましょう！				大湾 知子	
	14:45-15:00	玄米に含まれる有効成分γ-オリザノールの食嗜好～食行動と排泄～				赤嶺ゆかり	
	15:00-15:30	腸内環境のしくみ～食と排泄～				西村 かおる	
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	会場費は日本コンチネンス協会沖縄県支部が捻出します。講師謝金のみお願いします。 ※@6,230円×1.5時間×4名=37,380						
	合 計					37,380	円
⑭ 備 考							

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 医学部保健学科 成人がん看護学

① 講座名	がん患者・家族を癒す緩和ケアの実際							
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般	<input type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	一般市民・患者・家族	④ 募集人数	50 人	⑤ 修了証の発行	要・ <input checked="" type="radio"/> 不要
⑥ 共催など	沖縄赤十字病院							
⑦ 会場	沖縄赤十字病院 3F会議室						⑧ サテライト配信	可・ <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	ア)福祉・健康に関する講座				
	無料 円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)					
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	沖縄県においてはがんの罹患数は年々増加傾向にあり、例年がんによる死亡数は約2700人で、全死亡の1/3を占めている。家族ががんと診断され、治療ケアを受けるプロセスにおいて、患者の身体的・精神的苦痛を理解し、サポートする上で家族や重要他者の果たす役割は大きいと考える。このような視点より、本公開講座では、がん患者のQOLの向上に寄与することを目的にプログラムを構成した。一般市民の皆様とともにがん患者の緩和ケアについての知識を共有できる場として、本公開講座を活用したい。							
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)							
	○照屋 典子 (琉球大学医学部成人・がん看護学・助教)							
	笹良 剛史 (友愛会南部病院・麻酔科診療部長・緩和ケア担当医)							
	豊見山 健 (沖縄赤十字病院・外科部長・緩和ケア病棟担当医)							
	又吉 綾乃 (沖縄赤十字病院・緩和ケア認定看護師)							
島袋 辰弥 (沖縄赤十字病院・理学療法士)								
⑫ プログラム								
実施日	時間	講座内容					担当講師	
2019年11月2日 (土)	13:00~13:30(30分)	緩和ケア概論					照屋典子	
	13:30~14:20(50分)	がんの痛みを癒す 疼痛コントロールの実際					笹良剛史	
9月7日(土)	14:20~14:50(30分)	急性期病院における緩和ケア病棟の役割について					豊見山 健	
	15:00~15:20(20分)	沖縄赤十字病院における緩和ケア病棟の紹介					又吉 綾乃	
	15:20~15:40(20分)	がんリハビリテーションの実際					島袋 辰弥	
	15:40~16:00(20分)	総合討論(質疑応答)					笹良・照屋	
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・講師謝金(医師2名)・・・医師10000円×2名(小計 20000円) ・講師謝金(コメディカル2名)・・・7000円×2名(小計 14000円) ・学生雇上げ(3名)・・・単価 760円×8時間(冊子資料作成3時間+当日運営5時間)×3名(小計 18240円) ・A4コピー用紙(1箱5冊入り)単価1800円×1箱・・・(小計1800円) ・USBフラッシュメモリ(8GB 単価800円)×7個・・・(小計5600円) ・製本ファイル(5冊入り/袋 単価500円)×10袋・・・(小計5000円) ・Canon カートリッジ(単価7000円)×1個・・・(小計 7000円) ・フラットファイル(A4タテ単価50円)×20冊・・・(小計1000円) 							
	合 計					72,640		円
⑭ 備 考								

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 医学部

① 講座名	楽楽ランニングで目指せ！ NAHAマラソン完走！！							
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般	・ 専門	③ 受講対象者	一般市民	④ 募集人数	40 人	⑤ 修了証の発行	要・ <input checked="" type="radio"/> 不要
⑥ 共催など	なし							
⑦ 会場	琉球大学生涯学習教育研究センター、琉球大学医学部保健学科						⑧ サテライト配信	<input checked="" type="radio"/> 可・ 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)					
	無料 円			ア)福祉・健康に関する講座				
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	<p>「NAHAマラソン」は、3万人がエントリーする国内を代表する一大スポーツイベントとして35回の大会を迎える。また、おきなわマラソンも、嘉手納基地内を走る人気の大会です。しかしながら、アップダウンのあるコースで、完走率は75%ほどで、多くのランナーが悔しい思いをしています。</p> <p>本講座は、ランニング科学に基づいた適切な理論と実技指導により、初心者の方のフルマラソン完走をサポートすることを目的とする。さらに、マラソンに関する著書やランニング科学の研究者でもある鍋倉賢治先生(筑波大学教授)を招いて講義と実技を行い、講座の充実させることで、NAHAマラソンやおきなわマラソンの完全走破を目指すあなたをサポートする。</p>							
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)							
	○尾尻義彦(医学部保健学科・助教、ランニング学会認定指導者)							
	鍋倉賢治(筑波大学・教授、ランニング学会認定指導者)							
⑫ プログラム								
実施日	時間	講座内容					担当講師	
2019年11月2日 (土)	13:00～18:00	講義:楽楽ランニングとマラソントレーニング 実技:楽楽ランニング					照屋典子	
7月27日(土)	09:00～12:00	講義:ランニングの生理学(乳酸を克服せよ) 実技:12分間走で走力評価※※					笹良剛史	
8月24日(土)	14:00～18:00	講義:ランニングの生理学(脂肪代謝) 実技:体脂肪測定と楽楽ランニング					豊見山 健	
9月28日(土)	13:00～18:00	講義と実技:ガチ・ユル走で脂肪代謝力アップ※※					又吉 綾乃	
10月12日(土)	09:00～12:00	実技:峠走で心肺機能と脚力アップ※※ (会場:本部町八重岳)					島袋 辰弥	
11月16日(土)	09:00～12:00	実技:チャレンジ3時間走(西原町きらきらビーチ)※※					笹良・照屋	
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	バス移動(大学と本部町八重岳往復):40,000円 ※外部講師(鍋倉賢治教授)の招聘費用(交通費・宿泊費・謝金等):100,000円 ※※学生アルバイト(ランニング実技サポート、のべ8名):24,000円							
	合 計					164,000	円	
⑭ 備 考	実施日と時間、順序に関しては変更になる場合があります。 開催会場については、決まりしだいお知らせします。 受講者は個人でスポーツ安全保険等に加入することが望ましい。							

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 教育学部

① 講座名	オリジナル模様かりゆしワンピースづくりにトライ！								
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	一般・学生	④ 募集人数	6人	⑤ 修了証の発行	要	不要	
⑥ 共催など									
⑦ 会場	琉球大学教育学部棟3階333教室						⑧ サテライト配信	可	否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)						
	3,700円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)						
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	紅型風型染めでワンピースの模様をほどこしたフリーサイズのかりゆしワンピースをつくります。布をパターンにしたがって裁断・ しるしつけした後、自分で柄をデザインし、型紙をつくってステンシルの方法で染めてから仕立てます。既製品を買って着ることに はない、つくる楽しさを感じ、衣生活の原点を考えましょう。								
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)								
	○ 松本 由香(教育学部・教授)								
⑫ プログラム									
実施日	時間	講座内容						担当講師	
7月27日	9:30～17:00	ワンピースのパターンチェック、パターンづくり、補正、布の裁断、しるしつけ、模様デザイン、型紙づくり、型染め						松本 由香	
7月28日	9:30～17:00	ミシン縫い、完成						松本 由香	
⑬ 必要経費希望額 の積算内訳	配布綿麻布地代:7体(6人+サンプル1体)×2メートル×2,000円=28,000円 製図用紙・ミシン糸・ボビン7体×300円=2,100円 ST型紙用紙・顔料・サンカラー・バインダー=13,000円								
	合 計						43,100	円	
⑭ 備 考	裁縫道具(縫い針、まち針、ピンクッション、糸切りばさみ、しつけ糸、チャコ、チャコペーパー(両面)等)は、 各自持参下さい。布地および染めに必要な材料は、こちらで用意します。								

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 教育学部

① 講座名	琉大生がサッカーと勉強を教えます！								
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般	・ 専門	③ 受講対象者	小学生	④ 募集人数	100人	⑤ 修了証の発行	要・ <input checked="" type="radio"/> 不要	
⑥ 共催など									
⑦ 会場	琉球大学サッカー場(雨天時第一体育館)及び講義室(夏季は西原さくらからビーチの時もある)						⑧ サテライト配信	<input checked="" type="radio"/> 是	
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	ウ) 児童・生徒を対象とする講座					
	0円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)						
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	本講座は、昨今課題である児童・生徒の学力や体力の低下の問題に立ち向かうものである。対象は小学生男女であり、低～高学年まで全てである。琉球大学サッカー部を中心とする学生が、サッカー教室を通じて体を動かす楽しさを伝えた後、宿題の援助や苦手科目の克服などを目指した学習教室を展開し、「文武両道」の精神を身につけさせる。本講座は学生の若いエネルギーを子ども達にぶつけ、体当たり指導することによって、子ども達の「やる気」を育てる一助となることも目指し、若い先生が少なくなった学校現場の補足的な役割も期待できる。さらに学生諸君は教えることを通じて自らを成長させる良い機会となる。また、講座終盤では親子による親睦試合を行い、カレーパーティーを開き親子の絆を固める。さらに、夏期はビーチサッカー(親子大会、スイカ割り含)も経験し、サッカーの楽しさを広げる。日曜の朝から活動することによって生活習慣を整え、月曜からの学校の学習活動にスムーズに入れるようにする。昨年120名の参加者がある人気講座であり、NHKの「あさイチ」でも取材され全国から注目されている。								
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)								
	○琉球大学教育学部 准教授 笹澤 吉明								
	琉球大学工学部 准教授 姜 東植								
	琉球大学サッカー部学生								
⑫ プログラム									
実施日	時間	講座内容						担当講師	
調整中 5月開始予定 基本的に毎週日曜 日	8:30~10:00	サッカー教室						笹澤及び学生 笹澤及び学生	
	10:00~11:00	学習教室							
	11:00~14:00	試合応援(自由参加)							
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	メーカー	品名	品番	値段	個数	計	学生謝金 20回×2.5時間×762円×12名=457200円 【実質】 (40回×2.5時間×762円×20名=1524000円)		
	1	molten	ベレーダ274	PF274Y	3360	30			100800
	2	molten	ゲームベスト	GB101-Y	17850	1			17850
	3	molten	ゲームベスト	GB101-B	17850	1			17850
	4	molten	ゲームベストジュニア	GBJ101-Y	16800	1			16800
	5	molten	ゲームベストジュニア	GBJ102-B	16800	1			16800
	6	molten	片面ネームプリント	(ベスト用)	347	40			13880
	7	molten	ネームプリント製版	(ベスト用)	12600	1			12600
	8	molten	ボールカゴ	BK500T	54600	1			54600
	9	molten	ボールカゴ	BK500LD	13650	1			13650
合計						264830			
合 計						722,030	円		
⑭ 備 考	学生の遠征や大会等で都合がつかない場合は休講となることもあります。将来プロを目指す子から女子や初心者まで大歓迎です。子ども達の生活習慣を整えることを目的の一つとするため、運動、栄養、休養などのアドバイスを御父兄に行うこともあります。期間は5月から翌年3月までで30回開講しています。スクールお揃いの琉大ユニフォームTシャツを安価で販売しています。希望される方はスクールが始まってから担当学生に申し出てください。雨天時は、体育館にて行うことや、スケジュールの都合から土曜開校になることもあります。土曜日開校は8:00から始まりますのでご注意ください。変更のある場合は、琉大サッカー部のHPや事務からのメール連絡によって連絡します。なおこの取り組みは、平成14年3月にNHKの番組「あさイチ」にて報道され、全国で紹介され注目されています。								

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 教育学部

① 講座名	はじめてのプログラミング体験						
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般・ <input type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	小学5・6年生	④ 募集人数	5人	⑤ 修了証の発行	要
⑥ 共催など							
⑦ 会場	教育学部棟 4階 422室				⑧ サテライト配信	否	
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
	無料			ウ)児童・生徒を対象とする講座			
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化されます。本講座では、プログラミングの経験が全く無い児童の皆さんが、実際にプログラミングを体験しながら楽しく科学を学びます。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○濱田 栄作(教育学部・准教授)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
10月27日	13:00-16:00	プログラミングを体験しながら楽しく科学を学びます				濱田	
⑬ 必要経費希望額 の積算内訳	学生アルバイト(1名):単価762円(1時間)×5時間×1名分=3,810円 その他実験用消耗品(実験用基盤micro:bit等):8,000円						
	合 計				11,810		円
⑭ 備 考	プログラミングで使用するパソコンは主催者側で準備します。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 教育学部

① 講座名	クリスマス サイエンス レクチャー							
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般	<input type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	小学5・6年生および中学生	④ 募集人数	16 人	⑤ 修了証の発行	要
⑥ 共催など								
⑦ 会場	教育学部棟 4階 422室						⑧ サテライト配信	否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)					
	無 料 (ただし、行事保険料を 当日徴収します(100円 程度))	全学免除(無料)を希 望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希 望する場合、理由を選 択)	ウ)児童・生徒を対象とする講座				
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	科学のクリスマスプレゼントを贈ります。大学生のお兄さんやお姉さんと一緒に、ワクワクするような実験や観察を体験し、身近な自然や科学を楽しみながら学びましょう。							
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)							
	○濱田 栄作(教育学部・准教授)							
	岩切 宏友(教育学部・教授)							
	照屋 俊明(教育学部・教授)							
⑫ プログラム								
実施日	時間	講座内容						担当講師
12月21日	10:00-16:00	実験や観察を通して自然や科学を楽しみながら学びます						全員
⑬ 必要経費希望額 の積算内訳	実験用消耗品20,000円							
	合 計				20,000		円	
⑭ 備 考								

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 教育学部

① 講座名	ルービックキューブのオリジナル解法			
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ <input type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	一般市民、中・高生	④ 募集人数 20 人
⑤ 修了証の発行	要 <input type="radio"/> 不要 <input checked="" type="radio"/>			
⑥ 共催など	なし			
⑦ 会場	教育学部本館1階106室			⑧ サテライト配信
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	生徒を対象とする講座、学問の普及・啓発を趣旨とする講座のため。
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	<p>皆さんは、正多面体を美しいと感じますか？私は感じます。多くの皆さんも、美しいと感じるはずですが、ではなぜ人間は、正多面体をきれいと感じるのでしょうか。それには物体の対称性が関係しています。講義では、身の回りにある物体の対称性を探してみよう。そして、対称性を用いて、きれいさを「計算する」ことからスタートします。</p> <p>その後、トランプやルービックキューブを使って、対称性を使って遊んでみましょう。最初に対称性を使ったトランプマジックを紹介いたします。その後、対称性を使ったルービックキューブのオリジナルな解法を作りましょう。その先には最先端の数学が待っていることを見て終わりたいと思います。</p>			
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名) ○琉球大学教育学部准教授 三枝崎剛			
⑫ プログラム				
実施日	時間	講座内容	担当講師	
7月末から9月下旬	10:00-16:00	ルービックキューブのオリジナル解法	三枝崎 剛	
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	消耗品(ルービックキューブ、文具など):30,000円			
	合 計		30,000	円
⑭ 備 考	筆記用具持参。			

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 教職センター

① 講座名	気になる子どもたちの理解と地域との連携・協働による「トータル支援」						
② 講座の種類	一般・専門	③ 受講対象者	一般、教育・福祉関係者	④ 募集人数	60人	⑤ 修了証の発行	不要
⑥ 共催など	共催 県教育委員会(八重山教育事務所・宮古教育事務所) 石垣市 石垣市教育委員会 竹富町教育委員会 宮古福祉事務所 宮古島市教育委員会						
⑦ 会場	八重山教育事務所 宮古保健所					⑧ サテライト配信	不可
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合のみ記入)	オ)その他(備考に理由を記述)			
	0円	全学免除(無料)を希望する理由→	理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・内容等	子どもたちを取り巻く社会の変化によって、「ここ、いまを生きる子どもたち」の問題や課題が日々、取り上げられています。貧困対策、ひとり親の家庭支援、日常の子育ての大変さ、保育士や教師が抱えている困難、保育園、学校が抱えている課題への対応が厳しい現実のなかで、子どもも大人もその課題を解決し、より良く生きていくための発想や工夫が必要です。そのため保護者、保育士、教師、専門家は子どもを育てるための相互の連携・協働による「トータルな支援」が求められます。「トータル支援」は障がい・非行・不登校の子どもたちが厳しい現実のなかで、ともに楽しむ集団活動や教育実践を通して、地域社会へ「ともに向かう力、ともに生きる力」を育みます。この機会に少し立ち止まり子どもの姿やより良い理解・子育て・支援について考えてみませんか。本講座の講師は大学を拠点にして開催している気になる子どもや障がいのある子どもへの支援の取組(トータル支援教室)に参加している教師、心理士等です。教師や専門家による「トータル支援」の実践を通して子どもの育ちと学びについて考えます。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	○浦崎武(琉球大学教育学研究科・教職センター 教授)						
	崎濱朋子(琉球大学教育学部 教育支援・相談員 特別支援教育士)						
	武田喜乃恵(琉球大学教職センター 教育支援・相談員 臨床発達心理士)						
	城間すみ恵(宜野湾市立大謝名小学校 教諭)						
又吉美和子(那覇市立石嶺小学校 教諭)							
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
6月22日(土)	13時半～15時半	障がい・非行・不登校の子どもたちへの自立活動の実際とトータル支援教室					浦崎・崎濱・他
7月6日(土)	13時半～15時半	障がい・非行・不登校の子どもたちへの自立活動の実際とトータル支援教室					浦崎・崎濱・他
⑬ 必要経費希望額の積算内訳							
旅費①:(那覇-石垣往復航空券 17,000円×5名=85,000円、日当2200×2日×5名=22,000円、宿泊10,400円×1泊×5名=52,000円、交通費1,040円×5名=5,200円)旅費②:(那覇-宮古往復航空券 16,000円×5名=80,000円、日当2200×2日×5名=22,000円、宿泊10,400円×1泊×5名=52,000円、交通費1,040円×5名=5,200円)旅費計(323,400円) 消耗品(教材費等):20,000円 合計:343,400円							
合 計				343,400		円	
⑭ 備 考	一般(保護者等)、教員、保育士、保健師等の教育・福祉・保健等関係者および児童・生徒を対象とする。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名

理学部

① 講座名	水素のチカラ ～水素を作る、貯める、使うを体験しよう～							
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般	・ 専門	③ 受講対象者	市民一般・学生	④ 募集人数	30 人	⑤ 修了証の発行	要・ <input checked="" type="radio"/> 不要
⑥ 共催など								
⑦ 会場	琉球大学内およびサテライトキャンパスのうち1～3か所を予定						⑧ サテライト配信	可・ <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	エ) サテライトキャンパスを活用した講座				
	0 円							
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	水素エネルギー社会到来が間近に迫っているが、沖縄では未だ水素ステーションや水素燃料電池自動車などの導入例がほとんどなく、沖縄県民にはなじみの薄いものとなっている。しかしながら水素エネルギーは地産地消可能なエネルギー資源であるため、沖縄のような島嶼地域こそ国内に先駆けて水素社会になるべきだと考えている。本講座は、こういった状況を踏まえ、沖縄県民に水素を認知し、正しい知識を持ってもらい、水素エネルギー社会へスムーズに移行するための草の根活動として、子供から大人まで幅広い年齢層に「水素教育」なるものを提供することを趣旨とする。具体的な内容としては、来るべき水素社会の形、基本的な水素の性質、水素製造、貯蔵、利用の講義を行いつつ、関連した実験(電気分解による水素発生、水素貯蔵材料アンモニアボランを用いた水素放出反応、水素燃料電池ラジコン)を体験してもらう。							
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)							
	○ 中川 鉄水(理学部 海洋自然科学科 助教)							
⑫ プログラム								
実施日	時間	講座内容					担当講師	
未定	2時間	水素のチカラ@琉球大学千原キャンパス					中川 鉄水	
未定	2時間	水素のチカラ@離島(未定)					中川 鉄水	
未定	2時間	水素のチカラ@北部または南部地域(未定)					中川 鉄水	
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	学生アルバイト:760円×10時間(準備・片付け含む)×1人×3回=22,800円 離島への旅費(交通費・宿泊費のみ):30,000円×2人×1回=60,000円 実験器具:アンモニアボラン水素発生装置制作費1,000円×5台=5,000円 アンモニアボラン(1回2g×3回=6g):20,000円 燃料電池自動車修理・改造費(4台):40,000円							
	合 計					147,800	円	
⑭ 備 考								

平成31年度公開講座実施計画書

部局名：理学部

① 講座名	身近な海を楽しもう～サンゴ礁の生物塾						
② 講座の種類	一般	③ 受講対象者	移動手段(自家用車)があり、終日参加が可能な方、未成年者の場合は小学生以上とし原則保護者同伴での参加が可能な方	④ 募集人数	10人	⑤ 修了証の発行	要
⑥ 共催など	なし						
⑦ 会場	理学部 528教室 と 野外(大渡海岸もしくは裏真栄田海岸を予定)					⑧ サテライト配信	否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合のみ記入)				
	2,670円	全学免除(無料)を希望する 場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・内容等	理学部生物系教員によるサンゴ礁の海の生物やサンゴ礁環境にまつわる座学形式の講義と実地での磯歩き観察を組み合わせた講座を通して、沖縄の身近なサンゴ礁について、より深く、より楽しく学ぶ機会を提供します。午前中は主に教室でのガイダンスと講義をおこない、観察現場に移動後、潮の引いたサンゴ礁のイノー(浅瀬)にて、実地での観察形式の講義をおこないます。						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	中村 崇 理学部海洋自然科学科生物系 准教授						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容					担当講師
H31年8月31日(土)	10:30～15:30	午前中:サンゴ礁についての座学					上記のとおり
		移動(昼食含む)後に野外観察(13:25干潮 13cm)、現地解散					上記のとおり
⑬ 必要経費希望額の積算内訳							
	合 計						円
⑭ 備 考	各自、任意の傷害保険に加入をしておくこと。当日は濡れても大丈夫な服装と靴をご準備ください。万が一悪天候の場合には、午後の活動を屋内(教室での実験や観察)に切り替えて実施する場合があります。野外観察後は現地で解散となります。						

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 理学部

① 講座名	植物と動物のつながりを探る - イチジクの仲間を例に -			
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門	③ 受講対象者	一般市民 (小中高生も可)	④ 募集人数 15 人
⑤ 修了証の発行	<input checked="" type="radio"/> 要 ・ 不要			
⑥ 共催など	なし			
⑦ 会場	理学部海洋自然科学科427室			⑧ サテライト配信 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	オ)その他(備考に理由を記述)
	0円			
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	植物も動物も、自然の中で自分だけで生きていくことはできません。自分で動くことができない植物の多くは、動物に花粉を運んでもらわないと種子を作ることすらできません。また、新しい場所に広がっていくためには誰かに種子を運んでもらわないといけません。一方、多くの動物は、直接・間接に植物を餌として暮らしています。植物と動物のつながりに注目して身のまわりの自然を見直すと、今まで気付かなかった不思議で巧妙な生物の作戦と自然界の仕組みが見えてきます。この公開講座では、沖縄の人々にとって馴染み深いイチジクの仲間(ガジュマル)を取り上げ、花粉を運ぶ昆虫や、果実を食べる動物とのつながりについてお話しします。野外で実際に観察しながら、植物と動物の不思議な関係について学びましょう。			
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)			
	傳田哲郎 理学部海洋自然科学科生物系 教授			
⑫ プログラム				
実施日	時間	講座内容	担当講師	
2019/8/3(土)	9:00~16:00(休憩含む)	植物と、植物の花粉を運ぶ昆虫の関係についての講義と観察(野外での観察を含む)	傳田哲郎	
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	実験補助(アルバイト代、6時間×762円×4人) 18,288円			
	合 計		18,288	円
⑭ 備 考	本講座は児童生徒を多く含むことが予想されるため、受講料の全額免除を希望する。大学構内を歩いて観察を行います。歩きやすい靴・服装で参加してください。また、帽子・飲物を持参してください。付近にあまり食事をする場所がありませんので、昼食も用意されておくと良いと思います。			

平成31年度公開講座実施計画書

部局名

工学部

① 講座名	音の体験教室				
② コース	一般・専門	③COC事業の後継事業 (予定)との連携の可否	可・否	④修了証の発行について 要・不要	⑤ 受講対象者 一般市民
⑥ 開催会場	琉球大学工学部2号館2F残響室・無響室			⑦ 募集人数	50人程度
⑧ 共催など					
⑨ 受講料の希望額	0 円	理由 (単価表によらない 場合のみ記入)			
⑩ 講座の開設 趣旨・内容等	音響学の体験教室:非日常の音空間の体験・無響室残教室				
⑪ 担当講師 (代表者に ○をつける)	○渡嘉敷健(工学部工学科建築学コース)				
⑫ プログラム					
実施日	時間	講座内容			担当講師
8月18日	13時から17時	音響学の体験教室:非日常の音空間の体験・無響室残教室			代表:渡嘉敷健
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳					
	合 計				35,000 円
⑭ 備考	台風及び自然災害での日程変更				

平成31年度公開講座実施計画書

部局名

工学部

① 講座名	沖縄の公害問題で考える平和学習						
② 講座の種類	一般 <input type="radio"/> 専門 <input checked="" type="radio"/>	③ 受講対象者	市民一般	④ 募集人数	20人	⑤ 修了証の発行	要 <input checked="" type="radio"/> 不要 <input type="radio"/>
⑥ 共催など							
⑦ 会場	琉球大学工学部2号館2階小会議室					⑧ サテライト配信	可 <input checked="" type="radio"/> 否 <input type="radio"/>
⑨ 受講料	単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)				
	3,180円	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)				
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	<p>沖縄県内にある米軍専用施設は日本全国の70%が集中しています。米軍基地から派生する公害には、「典型七公害」と呼ばれる大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、悪臭、地盤沈下の問題が少なからず見られる。本講座では、米軍航空機の騒音問題及び、基地から派生すると思われる有害物質による土壌汚染、水質汚染の現状の問題について調査結果もとに解説します。さらに、70年以上前に行われた沖縄での地上戦争における平和学習を環境面で考える事の重要性を話します。</p>						
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)						
	<input type="radio"/> 渡嘉敷健(工学部工学科准教授)						
	<input type="radio"/> 田代 豊(名桜大学教授)						
	<input type="radio"/> 河村雅美(沖縄国際大学非常勤講師)						
⑫ プログラム							
実施日	時間	講座内容				担当講師	
2019/11/2	13:00-15:00	沖縄の米軍基地から発生する航空機騒音に関する調査研究				渡嘉敷健	
2019/11/9	13:00-15:00	沖縄本島中部地域を中心とする環境汚染				田代 豊	
2019/11/16	13:00-15:00	基地からの汚染による、わたしたちの水の危機				河村雅美	
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	外部講師謝金: $2h \times @6,230 \times 2d = ¥24,920$ 学生アルバイト(3名): $単価760円(1時間) \times 3時間 \times 3名分 = 6,840円$ USBフラッシュメモリ(3個): $2G 1,260円 \times 3個 = 3,780円$ その他消耗品(印刷用紙代等): 5,000円						
	合 計					40,540円	
⑭ 備 考							

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 教育学研究科

① 講座名	週末アジア旅入門(台湾・韓国を中心に)			
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般・ <input type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	一般	④ 募集人数 20 人
⑤ 修了証の発行	要 <input checked="" type="radio"/> 不要			
⑥ 共催など				
⑦ 会場	琉球大学地域国際学習センター3階301講義室			⑧ サテライト配信 <input type="radio"/> 可・ <input type="radio"/> 否 (どちらでもよい)
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は	理由 (単価表によらない場合 のみ記入)	
	2,670円 無料でも構いません。	全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	沖縄県はアジアの国々と歴史的に深い関わりがあり地理的にも近い。直行便も多数就航し、人的交流も活発に行われている。本講座では、沖縄県からの週末アジア旅について、台湾・韓国を中心に航空券の購入、宿泊施設の予約、安全な旅の楽しみ方、各地の魅力などについて、これからアジア旅をしようと考えている初心者向けに具体的なノウハウを紹介する。週末旅より少し長い旅になるが、タイ・中国・ベトナム・カンボジアなど近隣諸国への旅についても紹介する。			
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)			
	藏満逸司(教育学研究科・准教授)			
⑫ プログラム				
実施日	時間	講座内容		担当講師
2019/6/15土曜日	9:30-12:00	週末アジア旅入門		藏満逸司
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	なし			
	合 計			0 円
⑭ 備 考				

平成31年度公開講座実施計画書

部局名 教育学研究科

① 講座名	琉球切手の世界			
② 講座の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般・ <input type="radio"/> 専門	③ 受講対象者	一般	④ 募集人数 20 人
⑤ 修了証の発行	要 <input type="radio"/> 不要 <input checked="" type="radio"/>			
⑥ 共催など				
⑦ 会場	琉球大学地域国際学習センター3階301講義室			⑧ サテライト配信
	可 <input type="radio"/> 否 <input checked="" type="radio"/>			
⑨ 受講料	1. 単価表の通り (下記に金額記入) 2. 表によらない (金額及び理由を記入)	単価表によらない場合 (増額、減額)の理由→ 又は 全学免除(無料)を希望 する場合の理由→	理由 (単価表によらない場合 のみ記入) 理由 (全学免除(無料)を希望 する場合、理由を選択)	
	2,670円 無料でも構いません。			
⑩ 講座の開設趣旨・ 内容等	琉球切手は沖縄の宝の一つ。1945年のアメリカ軍による沖縄占領から、1972年5月14日の本土復帰まで、沖縄で発行された琉球切手や琉球葉書・初日カバー等の実物を見ていただきながら、様々なエピソードで琉球切手の世界を紹介します。琉球切手の奥深い世界に触れることは、沖縄の戦後史・自然・文化等々を学ぶきっかけとしてもおすすめです。			
⑪ 担当講師 (代表者に○をつける)	氏名(所属・職名)			
	藏満逸司(教育学研究科・准教授)			
⑫ プログラム				
実施日	時間	講座内容	担当講師	
2020/2/1土曜日	10:00-12:00	琉球切手に学ぶ沖縄	藏満逸司	
⑬ 必要経費希望額の 積算内訳	なし			
	合 計		0	円
⑭ 備 考				

平成30年3月23日
地域連携推進機構長決定

全学的に実施する公開講座等の実施方針

1. 趣旨

この方針は、琉球大学における公開講座等に関する規程（以下「公開講座等規程」という。）第7条の規定に基づき、公開講座等規程第3条第1項の公開講座の実施に関し、必要な事項を定める。

2. 目的

本学の教育・研究機能を広く社会に開放し、地域社会の発展に資する学習機会を充実させることで人々の教養や生活文化の向上、健康や社会福祉の増進、職業等に関する専門的知識や技術の革新に貢献することを目的に、地域社会の情勢を鑑み全学的見地から公開講座を企画・実施する。

3. 公開講座の要件

(講座の名称)

(1) 上記「2. 目的」を達成するため、地域連携推進機構が各部局等と共同で企画・実施する公開講座を琉球大学公開講座と称する。

(講座の種類)

(2) 琉球大学公開講座は、広く学術資源を提供することで人々の教養や生活文化の向上、健康や社会福祉の増進を図るための「一般コース」と、より高度な内容や専門職・職業人などを対象に専門的知識や技術の修得、再教育の機会の充実を図る「専門コース」とする。なお、琉球大学公開講座は、必要に応じて自治体や公共的団体等からの共催や後援を得ることができ、これを「連携講座」とする。ただし、琉球大学が共催や後援となる講座を琉球大学公開講座として実施することは認めない。

(内容)

(3) 講座の内容は上記の「2. 目的」に添うものとするとともに、企画・実施に際しては提供部局等ならびに琉球大学の学術資源の公開として相応しい内容とする。なおその場合であっても、講座の内容は中立を保ち、特定の宗教や宗派、政党や政治団体等への勧誘や奨励にならないよう留意が必要である。また講座が特定人に収益を帰属させたり、特定企業の広告・宣伝、販売の促進といった営利の追求にならないよう留意が必要である。

(対象)

(4) 琉球大学公開講座の対象は市民一般とし、講座の内容に応じて自由かつ的確に設定するものとする。

(担当講師)

(5) 琉球大学公開講座を担当する講師は原則として本学の教職員（常勤）とするが、上記「2. 目的」の達成のために特に必要とされる場合は、非常勤教職員や学外者も講師として加えることができる。ただし、**招聘にかかる旅費は支出しない。**

(回数・時間数)

(6) 各講座の回数や時間数は、原則として各講座の目的に応じて設定することができる。総時間数が10時間以内、1回2～3時間で3～5回程度の開催を1つの目安とするが、講座の内容や目的によっては1回のみでの開講や長期にわたる継続的な開催も可とする。

(会場)

(7) 会場は原則として学内とするが、講座の目的や内容によっては学外で開催することもできる。なお、特に当該の学習内容や学習機会が得がたいと判断される場合には離島地域での開催も認められるほか、サテライトキャンパスを用いた双方向型同時配信による講座の実施は特に推奨されるものである。

(経費)

(8) 講座を実施するにあたって必要となる経費については、講座内容・募集定員等を勘案し、必要最小限の額にとどめるものとする。また、講座の開催に際し受講者の利益に帰属する教材等（保険料含）は原則として受益者負担（受講者からの実費徴収）とする。

(受講料)

(9) 受講料の設定は「国立大学法人琉球大学料金規程」によるものとする。

4. 講座の募集・応募

(1) 講座の募集は地域連携推進機構長（以下、「機構長」という）が部局等の長に対し文書をもって依頼するものとする。募集は年1回行うが、必要に応じて追加の応募をすることができる。

(2) 応募は各部局等単位で行い、各部局等の学術資源の公開として相応しい講座を「一般コース」2講座以上、「専門コース」1講座以上とする。

5. 講座計画の審議及び決定

(1) 当該年度に実施する講座及び上記「3. 公開講座の要件」にかかる講座の詳細については、提出された各実施計画案をもとに地域連携推進機構運営会議（以下、「運

営会議」という)で審議し決定する。

- (2) 実施計画案の修正・変更については、機構長、関係部局等の長等、担当予定講師等で協議し、その結果をもとに生涯学習推進部門会議で審議し決定する。
- (3) 当該年度に実施する公開講座の詳細が決定した場合は文書をもって各部局等の長に通知するものとする。
- (4) なお、本機構が企画する講座の実施計画案についても、運営会議において審議するものとする。

6. その他

その他琉球大学公開講座の企画・実施・評価に必要となる事項については、運営会議において適宜審議し決定するものとする。

附 則

- 1 この実施方針は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 琉球大学公開講座実施方針（平成28年11月28日地域連携推進機構長決定）は、廃止する。

地域連携推進機構運営会議 委員名簿

(平成30年10月12日時点)

	所属・職名	氏名	区分	備考
1	機構長 (理事・副学長(地域連携・地域医療・ キャンパス移転担当))	すがはら かずひろ 須加原 一博	1号委員	議長
2	副機構長 兼 産学官連携部門長 (副学長・副理事(産学官連携担当))	おく ひろすけ 屋 宏典	2号委員	議長代行
3	地域連携企画室長 (生涯学習推進部門 教授)	せと ひろふみ 背戸 博史	3号委員	
4	生涯学習推進部門長 (人文社会学部 教授)	えんどう みつお 遠藤 光男	4号委員	
5	産学官連携部門 准教授	たまき おさむ 玉城 理	5号委員	専任教員
6	生涯学習推進部門 准教授	しばた さとし 柴田 聡史	5号委員	専任教員
7	地域連携企画室 特命准教授	こじま はじめ 小島 肇	6号委員	特任教員
8	地域連携企画室 特命准教授	しまぶくろ あきみち 島袋 亮道	6号委員	特任教員
9	地域連携企画室 特命准教授	はたなか ひろし 畑中 寛	6号委員	特任教員
10	地域連携企画室 特命准教授	みやざと だいや 宮里 大八	6号委員	特任教員
11	産学官連携部門 特命准教授	しもじ みさ子 下地 みさ子	6号委員	特任教員
12	生涯学習推進部門 特命准教授	くが むつこ 空閑 睦子	6号委員	特任教員
13	産学官連携部門 教授 (熱帯生物圏研究センター)	あらかわ たけし 新川 武	7号委員	併任教員 (任期：平成30年4月1日～平成31年3月31日)
14	産学官連携部門 教授 (工学部)	せな は いずる 瀬名波 出	7号委員	併任教員 (任期：平成30年4月1日～平成31年3月31日)
15	総合企画戦略部長	にった きなえ 新田 早苗	9号委員	
16	総合企画戦略部 地域連携推進課長	きんじょう とおる 金城 徹	10号委員	